Pioneer

DJ コントローラー

DDJ-SR

serato || serato DJ

http://pioneerdj.com/support/

上記のPioneer DJサポートサイトでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

http://serato.com/

最新版のSerato DJ ソフトウェアはSerato.com にアクセスしてダウンロードしてください。

取扱説明書

もくじ

本書の見かた

- このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
  この冊子と「ご使用の前に (重要)/ クイックスタートガイド」はどちらも必ずお読みください。両方とも、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
  Serato DJ のソフトウェアマニュアルの入手方法については、「マニュアルを入手する」(p.32) をご覧ください。
- 本書では、製品本体およびコンピューター画面に表示される画面名、メニュー名、ボタン名および端子名などを、[ ] で囲んで記載しています。(例 : [**CUE**] ボタン、[**Files**] パネル、[**MIC**] 端子)
- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、開発途中のものであり、最終仕様と異なる場合がありますがご了承ください。
- 本書で説明している手順については、OS のバージョン、ウェブブラウザーの設定などにより記載の動作と異なる場合がありますがご了承ください。

本書は、本機のハードウェアとしての機能を中心に説明が構成されています。詳しい Serato DJ ソフトウェアの操作については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

- Serato DJ のソフトウェアマニュアルは、「Serato.com」からダウンロードできます。詳細については、「Serato DJ のソフトウェアマニュアルをダウンロードする」(p.32) をご覧ください。
- 最新版の取扱説明書 (本書) は、Pioneer サポートサイトからダウンロードできます。詳細については、「最新版の取扱説明書をダウンロードする」(p.32) をご覧ください。

01 はじめに

本機の特長 3
付属品を確認する 4
ソフトウェアをインストールする 4
ドライバーソフトウェアおよび
設定ユーティリティーソフトウェアについて 6

02 接続および各部の名称

接続する 7
各部の名前とはたらき 9

03 操作する (基本編)

接続する 13
システムを起動する 14
システムを終了する 17

04 操作する (応用編)

パフォーマンスパッドを使う 18
スリップを使う 19
エフェクトを使う 20
チャンネルフェーダースタート機能を使う 22
マイクの音声をミックスする 22
DJ プレーヤーなどの音声をミックスする 22
ブースモニターに音声を出力する 22
曲を解析する 22

05 操作する (上級編)

パッドプラスモードを使う 23
サンプラーベロシティを使う 25

06 ユーティリティーモード

ユーティリティーモード 1 を起動する 26
設定を変更する 26
ユーティリティーモード 2 を起動する 27
設定を変更する 28
ジョグダイヤルのタッチセンサーの感度を調整する 29

07 その他

故障かな?と思ったら 30
マニュアルを入手する 32
他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する 33
保証とアフターサービス 34
商標および登録商標について 34
著作権についてのご注意 34

はじめに

本機の特長

本機は、高い操作性で多くのプロ DJ から高い評価を得ている当社 DJ 機器と Serato 社製 DJ ソフトウェア「Serato DJ」を組み合わせたオールインワン DJ システムです。本機は、「Serato DJ」の操作に最適な操作インターフェースを搭載しています。各インターフェースは大型ボディに余裕をもって配置しているので、「Serato DJ」の各機能を直感的、かつ確実に操作することができます。また、新機能である「PAD PLUS」機能を搭載することによって、パッドを使った DJ プレイをより個性的にすることが可能です。さらに、トップパネルにスチール素材を採用し、アグレッシブなパフォーマンスに耐えうる堅牢なデザインを採用しています。

「BIG JOG」

スムーズな操作性の大型 JOG を搭載しています。アナログターンテーブル感覚でスクラッチ演奏をお楽しみいただけます。

「PERFORMANCE PADS」

「Serato DJ」に搭載されている「HOT CUE」、「ROLL」、「SLICER」、「SAMPLER」の 4 つの機能をたたく、連打する等のダイナミックなアクションで操作できる、大型の「パフォーマンスパッド」を搭載しています。パッドの素材にラバーを採用していますので、長時間のプレイでも疲れず操作することができます。「SAMPLER」モード使用時は、4 種類のベロシティカーブから好みのカーブを選択することができ、強弱のついた抑揚のある演奏ができます。

「PAD PLUS」

パッドを押し続けることで、楽曲の BPM に合せてホットキューやサンプラーを自動で連打したり、ワンアクションでエフェクトとフィルターを同時にかけることで、個性的な演奏を可能にする「PAD PLUS」機能を新たに搭載しました。また、拍数を表示する「BEAT INDICATOR」も新たに搭載し、「PAD PLUS」機能で使用する拍数を確認しながら正確にパフォーマンスすることが可能です。

- HOT CUE ROLL
- SAMPLER ROLL
  パッドを押し続けることで、楽曲の BPM に連動してホットキューおよびサンプラーを自動で連打します。従来のパッドパフォーマンスでは難しかったドラムロールのような音を簡単に作り出すことができ、ホットキューやサンプラーのパフォーマンスに個性的なアレンジを加えることが可能になります。
- COMBO FX
  パッドを押し続けることで、ワンアクションでエフェクトとフィルターが同時にかかります。これにより、音量を減衰させながらエフェクトをかけることができ、楽曲の展開に抑揚を付けたパフォーマンスが可能になります。
- TRANS PAD
  パッドを押し続けることで、楽曲の音を BPM に連動したリズムで自動的にカットします。スクラッチ演奏などと組み合わせることで個性的な楽曲アレンジが可能になります。

Professional Build Quality & Design

トップパネルにスチール素材を使用し、アグレッシブなパフォーマンスに耐えうる堅牢なデザインに仕上げ、またジョグプレートにアルミ素材を使用することで、高級感のあるデザインに仕上げました。クラブやホームパーティーなどのシーンで DJ パフォーマンスを演出します。また各ツマミ、パッドはラバー素材を採用することで高級感だけでなく高い操作性も実現いたしました。

「Serato DJ」Supported

DJ プレイに必要な数々の機能を搭載した DJ ソフトウェア「Serato DJ」に対応しています。本機のすべてのボタンやツマミは、あらかじめソフトウェアと連動するよう設定されていますので、本機をコンピューターにつなぐだけですぐに DJ プレイを楽しめます。また Serato 社と共同開発した「SLIP」機能も搭載しています。

「SLIP MODE」

LOOP/SCRATCH/HOT CUE 等のプレイ中にバックグラウンドで音楽が進み続ける「SLIP MODE」機能を搭載しています。これにより原曲の展開を変えることなく DJ パフォーマンスをすることができます。

「2-CHANNEL MIXER」

本機は左右のデッキで再生している曲が直感的に分かりやすく、スクラッチ演奏に適した「2-CHANNEL MIXER」を搭載しています。左右のデッキを入れ換えて操作できる「Cross Fader Reverse」機能を搭載しているので、お客様の演奏スタイルに合ったスクラッチ操作が可能です。また、プレーヤー部に搭載したデッキ選択ボタンを使うことで、4 チャンネルミキサーとしても使用することができます。

USB バスパワー

USB バスパワーに対応しています。USB ケーブルで本機とコンピューターをつなぐだけで使うことができます。

HIGH SOUND QUALITY

オーディオ出力回路には、低ジッタークロック、および高性能 DAC を採用しており、原音を忠実に再現しクリアなクラブサウンドを実現しました。また、当社プロフェッショナルシリーズで培った音質技術を用いることで、DJ コントローラーとして業界最高水準の高音質を実現しています。

付属品を確認する

- CD-ROM (インストールディスク)
- USB ケーブル
- 保証書 (一部の地域)[1]
- ご使用の前に (重要)/ クイックスタートガイド

[1] 同梱されている保証書は欧州地域が対象です。
— 北米地域は「ご使用の前に (重要)/ クイックスタートガイド」の英語、フランス語それぞれの最終ページに該当内容が記載されています。
— 日本地域は「ご使用の前に (重要)/ クイックスタートガイド」の日本語の最終ページに該当内容が記載されています。

ソフトウェアをインストールする

ソフトウェアをインストールする前に

最新版のSerato DJソフトウェアはSerato.comにアクセスしてダウンロードしてください。付属の CD-ROM にも、ソフトウェアのダウンロードリンクが収録されています。
- 詳細は「インストール手順 (Windows)」または「インストール手順 (Mac OS X)」を参照してください。
- インターネットの接続に必要なコンピューター、ネットワーク機器、その他のインターネット利用環境はお客様でご用意ください。

ドライバソフトウェアについて (Windows)

本ドライバソフトウェアは、コンピューターからの音声を出力するための専用 ASIO ドライバです。
- Mac OS X をお使いのときは、ドライバソフトウェアをインストールする必要はありません。

ドライバソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバソフトウェアの最新情報については、下記の Pioneer DJ サポートサイトを参照してください。
http://pioneerdj.com/support/

Serato DJ ソフトウェアについて

Serato DJ は Serato 社製の DJ ソフトウェアです。このソフトウェアをインストールしたコンピューターと本機を接続して DJ プレイを楽しむことができます。

最低動作環境

対応 OS		CPU および必要メモリー
Mac OS X:10.8、10.7、10.6	32 ビット版	Intel® プロセッサ、Core™ 2 Duo 2.0 GHz 以上
		1 GB 以上の RAM
	64 ビット版	Intel® プロセッサ、Core™ 2 Duo 2.4 GHz 以上
		4 GB 以上の RAM
Windows: Windows 7	32 ビット版	Intel® プロセッサ、Core™ 2 Duo 2.0 GHz 以上
		2 GB 以上の RAM
	64 ビット版	Intel® プロセッサ、Core™ 2 Duo 2.4 GHz 以上
		4 GB 以上の RAM

その他	
光学ドライブ	CD-ROM の読み込みが可能な光ディスクドライブ
USB ポート	コンピューターと本機を接続するために USB2.0 ポートが必要です。
ディスプレイ解像度	1 280 x 720 以上の解像度
インターネット接続	「Serato.com」のユーザーアカウントの登録やソフトウェアのダウンロードのため、インターネット接続環境が必要です。

- 最新の動作環境、互換性、および最新の OS システムを取得するには、下記の Pioneer DJ サポートサイトの「**DDJ-SR**」の「**ソフトウェア対応情報**」を参照してください。
  http://pioneerdj.com/support/
- OS は最新のバージョン、サービスパックをお使いください。
- 記載の動作環境を満たしているすべてのコンピューターにおける動作を保証するものではありません。
- コンピューターの省電力設定などの状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型コンピューターをお使いのときは、AC 電源を接続するなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングで Serato DJ をお使いください。
- インターネットをお使いになるときは、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。

インストール手順について

お客様がお使いになるコンピューターのオペレーティングシステム (OS) により、インストールの手順が異なります。

Windows のとき

ドライバソフトウェアのインストールに続いて、Serato DJ ソフトウェアのインストールを行ってください。

Mac OS X のとき

Serato DJ ソフトウェアのインストールのみ行ってください。

インストール手順 (Windows)

インストールが完了するまでは、本機とコンピューターを接続しないでください。
- コンピューターの管理者に設定されているユーザーでログイン (またはログオン) してからインストールしてください。
- コンピューター上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

1 CD-ROM をコンピューターの光学ドライブに挿入する

CD-ROM のメニューが表示されます。
- CD-ROM を挿入しても CD-ROM のメニューが表示されないときは、[**スタート**] メニューの [**コンピュータ** (または**マイコンピュータ**)] から光学ドライブを開き [**CD_menu.exe**] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROM のメニューが表示されたら、[ドライバソフトウェア (Pioneer_DDJ_SR_Driver_x.xxx.exe) をインストールする] を選んで [開始] をクリックする

- CD-ROM のメニューを終了させるときは、[**終了**] をクリックしてください。

3 画面の指示に従ってインストールする

インストールの途中で [**Windows セキュリティ**] 画面が表示されることがありますが、[**このドライバソフトウェアをインストールします**] をクリックしてインストールを続行してください。
インストールプログラムが終了すると終了メッセージが表示されます。
ドライバソフトウェアのインストールに続いて、Serato DJ ソフトウェアのインストールを行ってください。

4 CD-ROM のメニューの [Serato DJ をダウンロードする] を選んで [開始] をクリックする

5「接続にはインターネット環境が必要です。インターネットに接続しますか？」と表示されるので、[はい] をクリックする

ウェブブラウザーが起動し、Pioneer DJ サポートサイトが表示されます。

6 Pioneer DJ サポートサイトで [DDJ-SR] の [ソフトウェア対応情報] をクリックする

7 Serato DJ のダウンロードページへのリンクをクリックする
Serato DJ のダウンロードページが表示されます。

8「Serato.com」のユーザーアカウントでログインする
- すでに「Serato.com」のユーザーアカウントを登録されているお客様は、手順 10 にお進みください。
- ユーザーアカウントの登録が完了していないお客様は、以下の操作をしてユーザーアカウントの登録を行ってください。
  - 画面の指示に従って、E-mail アドレス、設定したいパスワードを入力し、お住まいの地域を選択してください。
  - [**E-mail me Serato newsletters**] にチェックを入れると、Serato 社からのニュースレターが送信され、Serato 社製品の最新情報を入手できます。
  - ユーザーアカウント登録が完了すると、入力した E-mail アドレスに E-mail が送信されますので、「Serato.com」から送信された E-mail の内容を確認してください。
- ユーザー登録の際にご指定いただきましたお客様の E-mail アドレスとパスワードは、お忘れにならないように十分ご注意ください。ソフトウェアのアップデートをするときに必要になります。
- 新規ユーザーアカウントの登録時に入力する個人情報は、Serato 社ウェブサイトの個人情報保護方針に基づき、収集、処理、使用されます。

9「Serato.com」から送信された E-mail に記載されているリンク先をクリックする
Serato DJ のダウンロードページに進みます。手順 11 にお進みください。

10 ログインする
登録した E-mail アドレスおよびパスワードを入力し、「Serato.com」にログインします。

11 ダウンロードページから、Serato DJ ソフトウェアをダウンロードする
ダウンロードしたファイルを解凍し、解凍したファイルをダブルクリックするとインストーラーが起動します。

12 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は [I agree to the license terms and conditions] を選択し、[Install] をクリックする

- 使用許諾契約の内容に同意しないときは [**Close**] をクリックしてインストールを中止してください。

インストールが始まります。

インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

13 [Close] をクリックして Serato DJ インストーラーを終了させる

インストール手順 (Mac OS X)

インストールが完了するまでは、本機とコンピューターを接続しないでください。

- コンピューター上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

1 CD-ROM をコンピューターの光学ドライブに挿入する
CD-ROM のメニューが表示されます。
- CD-ROM を挿入しても画面上に CD-ROM のメニューが表示されないときは、Finder で光学ドライブを開いてから [**CD_menu.app**] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROM のメニューの [Serato DJ をダウンロードする] を選んで [開始] をクリックする

3「接続にはインターネット環境が必要です。インターネットに接続しますか？」と表示されるので、[はい] をクリックする
ウェブブラウザーが起動し、Pioneer DJ サポートサイトが表示されます。

4 Pioneer DJ サポートサイトで [DDJ-SR] の [ソフトウェア対応情報] をクリックする

5 Serato DJ のダウンロードページへのリンクをクリックする
Serato DJ のダウンロードページが表示されます。

6「Serato.com」のユーザーアカウントでログインする
- すでに「Serato.com」のユーザーアカウントを登録されているお客様は、手順 8 にお進みください。
- ユーザーアカウントの登録が完了していないお客様は、以下の操作をしてユーザーアカウントの登録を行ってください。
  - 画面の指示に従って、E-mail アドレス、設定したいパスワードを入力し、お住まいの地域を選択してください。
  - [**E-mail me Serato newsletters**] にチェックを入れると、Serato 社からのニュースレターが送信され、Serato 社製品の最新情報を入手できます。
  - ユーザーアカウント登録が完了すると、入力した E-mail アドレスに E-mail が送信されますので、「Serato.com」から送信された E-mail の内容を確認してください。
- ユーザー登録の際にご指定いただきましたお客様の E-mail アドレスとパスワードは、お忘れにならないように十分ご注意ください。ソフトウェアのアップデートをするときに必要になります。
- 新規ユーザーアカウントの登録時に入力する個人情報は、Serato 社ウェブサイトの個人情報保護方針に基づき、収集、処理、使用されます。

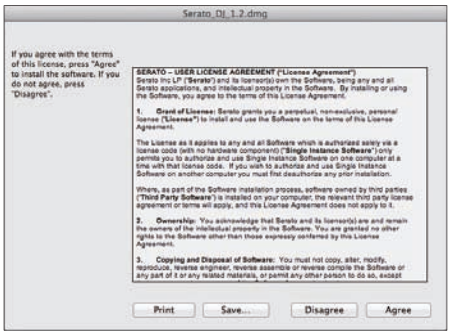
7「Serato.com」から送信された E-mail に記載されているリンク先をクリックする
Serato DJ のダウンロードページに進みます。手順 9 にお進みください。

8 ログインする
登録した E-mail アドレスおよびパスワードを入力し、「Serato.com」にログインします。

9 ダウンロードページから、Serato DJ ソフトウェアをダウンロードする

ダウンロードしたファイルを解凍し、解凍したファイルをダブルクリックするとインストーラーが起動します。

10 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は [Agree] をクリックする



- 使用許諾契約の内容に同意しないときは [**Disagree**] をクリックしてインストールを中止してください。

11 下記の画面が表示されたら、[Serato DJ] アイコンを [Applications] フォルダーアイコンにドラッグアンドドロップする

ドライバーソフトウェアおよび設定ユーティリティーソフトウェアについて

本機は ASIO 規格に準拠したオーディオデバイスとしての機能を備えています。

設定ユーティリティーソフトウェアを使う

この機能は OS に Windows をお使いのお客様のみご利用いただけます。

❖ 設定ユーティリティーソフトウェアを起動する

Windows の [スタート] メニュー > [すべてのプログラム]>[Pioneer]>[DDJ_SR]>[DDJ_SR ASIO 設定ユーティリティ] をクリックする

❖ バッファサイズを調整する

Serato DJ ソフトウェアのバッファサイズの設定と同じように、[**カーネルバッファ数**] の設定値は値を小さくすると音声データの伝送遅延 (レイテンシー) が小さくなり、大きくすると音声データの脱落 (音とぎれ) が発生しにくくなります。

バッファサイズは、Serato DJ ソフトウェアの [**SETUP**] メニュー内の [**USB BUFFER SIZE (LATENCY)**] での設定値が優先されます (デフォルト設定は 512 samples/10 ms になっています)。

- DJ ソフトウェア側の設定方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- [**バッファサイズ**] または [**カーネルバッファ数**] の数値を大きくすると、音声データの脱落 (音とぎれ) などが生じにくくなりますが、音声データの伝送遅延 (レイテンシー) によるタイムラグが増大します。

❖ デフォルト設定で音切れが発生している場合

1 [DDJ_SR ASIO 設定ユーティリティ] を起動して [カーネルバッファ数] を [4] に変更する

2 Serato DJ ソフトウェアの [**USB BUFFER SIZE (LATENCY)**] を音切れが発生しない最小のバッファサイズに設定する

❖ デフォルト設定で音切れが発生していない場合

1 Serato DJ ソフトウェアの [**USB BUFFER SIZE (LATENCY)**] を音切れが発生しない最小のバッファサイズに設定する

2 [DDJ_SR ASIO 設定ユーティリティ] を起動して [カーネルバッファ数] を [2] に変更し、音切れが発生していないかを確認する

3 音切れが発生しない場合は Serato DJ ソフトウェアの [**USB BUFFER SIZE (LATENCY)**] を音切れが発生しない最小のバッファサイズに設定し、音切れが発生した場合は [DDJ_SR ASIO 設定ユーティリティ] の [カーネルバッファ数] を [3] に変更します

ドライバソフトウェアのバージョンを確認する

Windows の [スタート] メニュー > [すべてのプログラム]>[Pioneer]>[DDJ_SR]>[DDJ_SR バージョン表示ユーティリティ] をクリックする

- この画面では本機のファームウェアのバージョンも確認できます。
- 本機がコンピューターに接続されていないとき、または本機とコンピューターが正常に通信できていないときは、ファームウェアのバージョンは表示されません。

接続および各部の名称

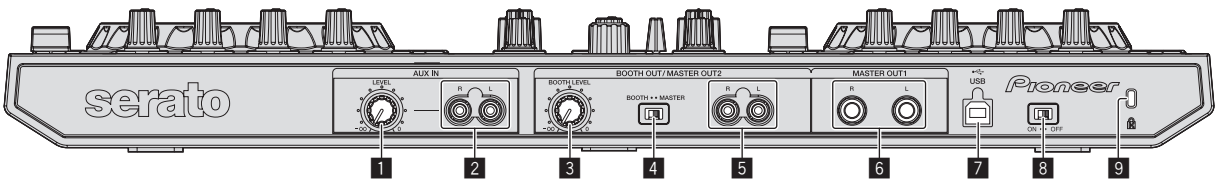
接続する

機器の接続や変更は、必ず電源を切ってから行ってください。
USB ケーブルは必ず本製品に付属のものをお使いください。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
本機は USB バスパワーで電源が供給されます。USB ケーブルで本機とコンピューターを接続するだけで使用できます。

- 本機を接続するコンピューターは、AC 電源に接続してください。
- USB ハブは使えません。
- 以下のような場合は、電源が不足して本機が USB バスパワーで動作しないことがあります。
  - — コンピューター本体の USB ポートの電源供給能力が不足している。
  - — コンピューターに他の USB 機器を接続している。
  - — インピーダンスが 32 Ω より小さいヘッドホンを接続している。
  - — ステレオフォーンジャックとステレオミニフォーンジャックの両方にヘッドホンを同時に接続している。
  - — [**HEADPHONES**] 端子にモノラルジャックを接続している。

各部の名称

❖ 本体背面部



1 AUX IN LEVEL ツマミ
[**AUX IN**] 端子に入力される音声レベルを調整します。

2 AUX IN 端子
外部機器 (サンプラーやポータブルオーディオ) の出力端子と接続します。

3 BOOTH LEVEL ツマミ
[**BOOTH**] 端子から出力される音声レベルを調整します。

4 BOOTH/MASTER 切換スイッチ
[**BOOTH OUT/MASTER OUT 2**] 端子からの音声をブースモニター用に出力するか、マスターチャンネルを出力するか切り換えられます。[**BOOTH**] 側にしているときは、マスターチャンネルに設定された音声レベルと関係なく、マスターチャンネルの音声を [**BOOTH OUT/MASTER OUT 2**] 端子から出力できます。音量レベルは [**BOOTH LEVEL**] ツマミで調整できます。

- レベルを上げすぎると音声が歪みます。

5 BOOTH OUT/MASTER OUT 2 端子
パワーアンプまたはブースモニターなどを接続します。

- RCA ピンジャック型のアンバランス出力に対応しています。

6 MASTER OUT 1 端子
パワードスピーカーなどを接続します。

- TRS 端子のため、バランス出力、アンバランス出力に対応しています。

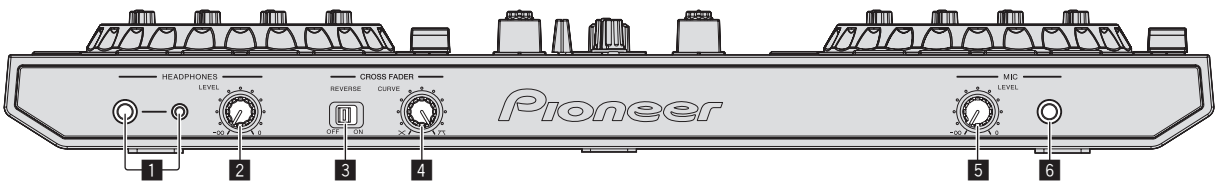
7 USB 端子
コンピューターと接続します。

- 本機とコンピューターは付属の USB ケーブルで直接接続してください。
- USB ハブは使えません。

8 ON/OFF スイッチ
本機の電源をオン / オフします。

9 ケンジントンロック装着用穴

❖ 本体前面部



1 HEADPHONES 端子
ヘッドホンを接続します。
ステレオフォーンプラグ (ø 6.3 mm) とステレオミニフォーンプラグ (ø 3.5 mm) に対応しています。

- ステレオフォーンジャックとミニフォーンジャックの 2 つの入力端子がありますが、同時に使用しないでください。同時に使用すると片方の端子を抜き差しする際に、もう片方の音量が急に増減する場合があります。

2 HEADPHONES LEVEL ツマミ
[**HEADPHONES**] 端子から出力される音声レベルを調整します。

3 CROSS FADER REVERSE スイッチ
クロスフェーダーの左右を入れ換えます。

- [**ON**]：クロスフェーダーの左側がデッキ [**2**]、右側がデッキ [**1**] になります。
- [**OFF**]：クロスフェーダーの左側がデッキ [**1**]、右側がデッキ [**2**] になります。

4 CROSS FADER CURVE 切換ツマミ
クロスフェーダーのカーブ特性を切り換えます。

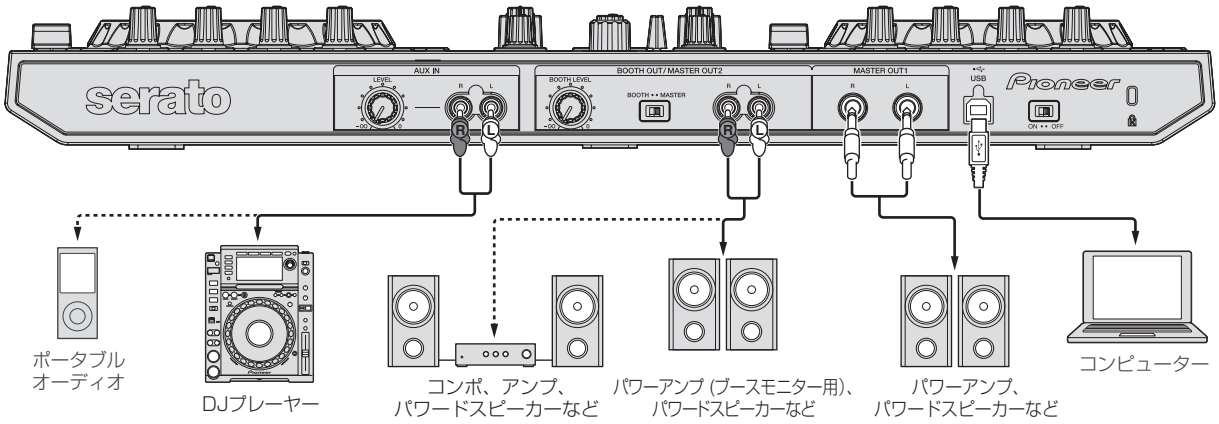
- ツマミを右に回すほど、急峻に立ち上がるカーブになります。
- ツマミを左に回すほど、徐々に立ち上がるカーブになります。

5 MIC LEVEL ツマミ
[**MIC**] 端子に入力される音声レベルを調整します。

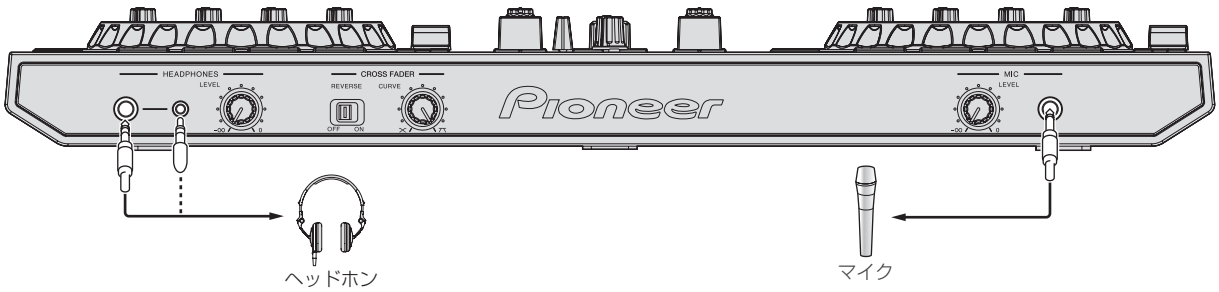
6 MIC 端子
マイクを接続します。

入力 / 出力端子に接続する

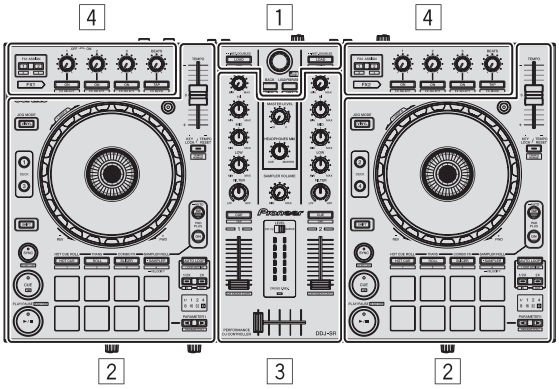
❖ 本体背面部



❖ 本体前面部



各部の名前とはたらき



1 **ブラウザー部**

2 **デッキ部**

3 **ミキサー部**

4 **エフェクト部**

ツマミの設定値について

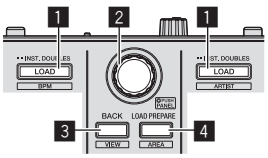
下記のツマミなどの設定値は Serato DJ ソフトウェア内部では、それぞれのデッキで個別に制御されています。

- **TRIM** ツマミ
- **EQ** (**HI**、**MID**、**LOW**) ツマミ
- **FILTER** ツマミ
- チャンネルフェーダー
- **TEMPO** スライダー

デッキを切り換えた時に Serato DJ で制御されている値と、本機のツマミやフェーダーの位置が異なっている場合、ツマミやフェーダーは Serato DJ で制御されている値まで動かさないと操作できません。

- Serato DJ のデッキ 3 と 4 の初期設定値は [**TRIM**] ツマミ、[**EQ** (**HI**、**MID**、**LOW**)] ツマミ、[**FILTER**] ツマミがセンター位置、[**TEMPO**] スライダーが± 0.0%、チャンネルフェーダーは一番手前の位置になっています。

ブラウザー部



1 LOAD ボタン

押す：

選んでいるトラックをそれぞれのデッキにロードします。

- [**LOAD**] ボタンを 2 回押すと、反対側の選択されているデッキにロードされているトラックを、[**LOAD**] ボタンが押されたデッキにロードします。トラックが再生中のときは同じ位置から再生されます。（インスタントダブル）

[**SHIFT**] + 押す：

各 [**LOAD**] ボタンを押すと、ライブラリのトラックリストをソートします。

LOAD BPM : BPM でソートします。

LOAD ARTIST : アーティストでソートします。

2 ロータリーセレクター

回す：

ライブラリや [**CRATES**] パネルのカーソルが上下に移動します。

押す：

ロータリーセレクターを押すたびに [**CRATES**] パネルとライブラリの間でカーソルが移動します。

[**Files**] パネル内のカーソルが下位階層へ移動します。

[**Browse**] パネル内のカーソルが次のカテゴリへ移動します。

3 BACK (VIEW) ボタン

押す：

ボタンを押すたびに [**CRATES**] パネルとライブラリの間でカーソルが移動します。

[**SHIFT**] + 押す：

Serato DJ のレイアウトを切り換えます。

4 LOAD PREPARE (AREA) ボタン

押す：

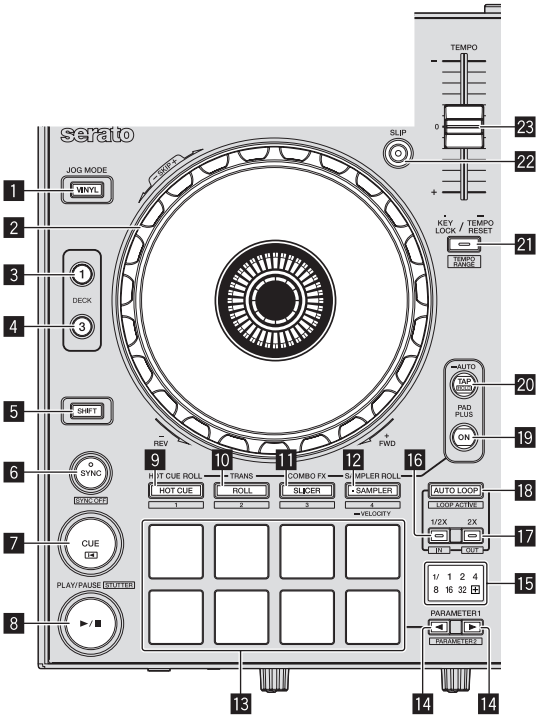
[**Prepare**] パネルにトラックをロードします。

[**SHIFT**] + 押す：

[**Files**] パネル、[**Browse**] パネル、[**Prepare**] パネル、[**History**] パネルを選択して表示します。

デッキ部

4 つのデッキをコントロールします。コントローラー左側にデッキ 1 およびデッキ 3、コントローラー右側にデッキ 2 およびデッキ 4 を操作するツマミやボタンがあります。



1 VINYL ボタン

VINYL モードをオン / オフします。

2 ジョグダイヤル
天面を回す：
VINYL モードがオンのとき、スクラッチ操作ができます。
VINYL モードがオフのとき、ピッチベンド操作 (再生速度の調整) ができます。

外周部を回す：
ピッチベンド操作 (再生速度の調整) ができます。
[**SHIFT**] + 天面を回す：
ビートに同期して再生位置がスキップします。(スキップモード)
- スキップモードはビートグリッドが設定されていない楽曲ではお使いいただけません。ビートグリッドの設定方法の詳細については、Serato DJのソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- スキップモードを使うには、Serato DJ の [**SETUP**] メニューにある [**SYNC PREFERENCE**] を [**Smart sync**] に切り換える必要があります。

3 DECK 1 ボタン
右側のデッキ部には、[**DECK 2**] ボタンがあります。
操作するデッキを切り換えます。

4 DECK 3 ボタン
右側のデッキ部には、[**DECK 4**] ボタンがあります。
操作するデッキを切り換えます。

5 SHIFT ボタン
[**SHIFT**] ボタンを押しながら他のボタンを押すと別の機能を呼び出せます。

6 SYNC ボタン
押す：
複数のデッキのトラックとテンポ (ピッチ) およびビートグリッドを自動で合わせることができます。

[**SHIFT**] + 押す：
SYNC を解除します。

7 CUE ボタン
押す：
テンポラリーキューポイントを設定、再生、呼び出しします。
- 一時停止中に [**CUE**] ボタンを押すとテンポラリーキューポイントを設定します。
- 再生中に [**CUE**] ボタンを押すとテンポラリキューポイントに戻り、一時停止します。(バックキュー)
- テンポラリーキューポイントに戻ったあとに [**CUE**] ボタンを押し続けると、ボタンを押し続けている間、再生を続けます。(キューサンプラー)
- キューサンプラー中に [**PLAY/PAUSE ►/II**] ボタンを押すとそのまま続けて再生します。

[**SHIFT**] + 押す：
トラックリストの中の 1 つ前のトラックをロードします。(プレビアス トラック)
- 現在の再生位置がトラックの先頭でないときは、トラックの先頭に戻ります。

8 PLAY/PAUSE ►/II ボタン
押す：
トラックを再生 / 一時停止します。

[**SHIFT**] + 押す：
テンポラリーキューポイントに戻って再生を続けます。(スタッター)

9 HOT CUE モードボタン
押す：
ホットキューモードに設定します。

[**SHIFT**] + 押す：
将来的に Serato DJ ソフトウェアに機能拡張があった場合に使用します。
- 機能拡張については、下記の Pioneer DJ サポートサイトでご確認ください。
  http://pioneerdj.com/support/

10 ROLL モードボタン
押す：
ロールモードに設定します。

[**SHIFT**] + 押す：
将来的に Serato DJ ソフトウェアに機能拡張があった場合に使用します。
- 機能拡張については、下記の Pioneer DJ サポートサイトでご確認ください。
  http://pioneerdj.com/support/

11 SLICER モードボタン
押す：
スライサーモードに設定します。
- ボタンを押すたびに、SLICER モード 1/SLICER モード 2 を切り換えます。
- スライサーモードを解除するには、[**ROLL**] モードボタン、[**SAMPLER**] モードボタン、[**HOT CUE**] モードボタンのいずれかのボタンを押します。

[**SHIFT**] + 押す：
将来的に Serato DJ ソフトウェアに機能拡張があった場合に使用します。
- 機能拡張については、下記の Pioneer DJ サポートサイトでご確認ください。
  http://pioneerdj.com/support/

12 SAMPLER モードボタン
押す：
サンプラーモードに設定します。

1 秒以上押す：
サンプラーベロシティモードをオン / オフします。
➲「サンプラーベロシティを使う」(p.25)

[**SHIFT**] + 押す：
将来的に Serato DJ ソフトウェアに機能拡張があった場合に使用します。
- 機能拡張については、下記の Pioneer DJ サポートサイトでご確認ください。
  http://pioneerdj.com/support/

13 パフォーマンスパッド
パッドを使って、さまざまなパフォーマンスを行うことができます。
➲「パフォーマンスパッドを使う」(p.18)

14 PARAMETER◄ ボタン、PARAMETER► ボタン
パフォーマンスパッド使用時のさまざまなパラメーターを設定します。
➲「パフォーマンスパッドを使う」(p.18)

15 ビートインジケーター
パッドプラスモードで機能が動作する拍、オートループの拍などが表示されます。
パッドプラスモードがオンのときは、「**+**」のインジケーターが点灯します。
➲「ビートインジケーターの見かた」(p.12)

16 1/2X (IN) ボタン
押す：
オートループの拍を選択します。
ループ再生中、ボタンを押すたびにループ再生の長さが半分に分割されます。

[**SHIFT**] + 押す：
ループインポイントが設定されます。

17 2X (OUT) ボタン
押す：
オートループの拍を選択します。
ループ再生中、ボタンを押すたびにループ再生の長さが倍に延長されます。

[**SHIFT**] + 押す：
ループアウトポイントが設定され、ループ再生を始めます。

18 AUTO LOOP ボタン
押す：
オートループをオン / オフします。
- ループ再生中、この操作でループを解除します。

[**SHIFT**] + 押す：
ループのアクティブ状態 / 非アクティブ状態を切り換えます。(ループアクティブ)
- ループをアクティブ状態に設定しても、そのループ内に再生位置がないとループ再生しません。
- アクティブ状態のループ内に再生位置が入るとループ再生します。
- ループ再生中、この操作でループを解除します。

19 PAD PLUS ON ボタン
押す：
パッドプラスモードをオンまたはオフします。
➲「パッドプラスモードを使う」(p.23)

20 PAD PLUS TAP ボタン
押す：
パッドプラスモードの各機能が動作する拍を手動で設定できます。
3 回以上押すと、押した間隔から拍を計算して設定されます。
➲「パッドプラスモードのテンポモードを切り換える」(p.25)

[**SHIFT**] + 押す：
パッドプラスモードのホールド機能をオンします。
➲「ホールド機能を使う」(p.25)

21 KEY LOCK ボタン
押す：
キーロック機能をオン / オフします。
キーロック機能がオンのとき、[**TEMPO**] スライダーで再生速度を変えても音程は変わりません。
- 音声をデジタル加工するため音質が悪くなります。

[**SHIFT**] + 押す：
押すたびに [**TEMPO**] スライダーの可変範囲が切り換わります。

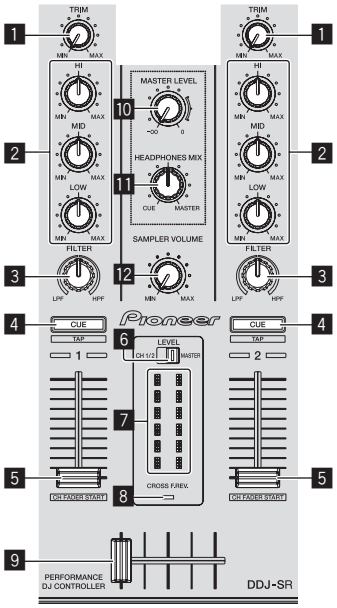
►[±8%]►[±16%]►[±50%]┐

1 秒以上押す：
再生中のトラックのテンポ (BPM) をトラックのオリジナルテンポに戻します。

22 SLIP ボタン
スリップモードをオン / オフします。
➲「スリップを使う」(p.19)

23 TEMPO スライダー
トラックの再生速度を調整します。

ミキサー部



1 TRIM ツマミ
各チャンネル出力の大きさを調整します。

2 EQ (HI、MID、LOW) ツマミ
各チャンネルに対してそれぞれの周波数域を増減させることができます。

3 FILTER ツマミ
各チャンネルに対して、フィルターエフェクトをかけます。
ツマミがセンター位置のとき原音が出力されます。

左回し：ローパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に下がります。
右回し：ハイパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に上がります。

4 ヘッドホン CUE/TAP ボタン
押す：
ヘッドホン [**CUE**] ボタンが押してあるチャンネルの音声がヘッドホンから出力されます。
- ヘッドホン [**CUE**] ボタンを再び押すと、モニターが解除されます。

[**SHIFT**] + 押す：
ボタンをたたくことでトラックのテンポを設定できます。(タップ機能)
- タップ機能を使うと、コンピューター画面のデッキ部の表示が [**Beatgrid Editor**] 表示に切り換わります。デッキ部の表示を元に戻すには、コンピューター画面の [**Edit Grid**] をクリックします。
- タップ機能を使うには、Serato DJ の [**SETUP**] メニューにある [**SYNC PREFERENCE**] を [**Smart sync**] に切り換える必要があります。

5 チャンネルフェーダー
動かす：
各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

[**SHIFT**] + 動かす：
チャンネルフェーダースタート機能を使います。
➲「チャンネルフェーダースタート機能を使う」(p.22)

6 レベルインジケータースイッチ
レベルインジケーターに表示するレベルを各チャンネルのレベル、またはマスター出力のレベルから選ぶことができます。

7 レベルインジケーター
各チャンネルのレベル、またはマスター出力のレベルのどちらかを表示します。

8 CROSS F. REV. インジケーター
[**CROSS FADER REVERSE**] スイッチが、[**ON**] 側にされているときに点灯します。

9 クロスフェーダー
左右デッキの音声出力を切り換えます。

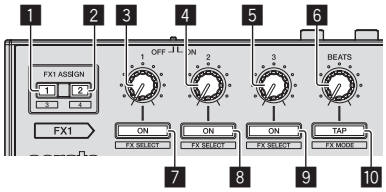
10 MASTER LEVEL ツマミ
マスター出力の音声レベルを調整します。

11 HEADPHONES MIX ツマミ
ヘッドホン [**CUE**] ボタンが押してあるチャンネルの音声と、マスターチャンネルの音声のモニター音量バランスを調整します。

12 SAMPLER VOLUME ツマミ
サンプラー全体の音声レベルを調整します。

エフェクト部

2 つのエフェクトユニット (FX1 および FX2) をコントロールします。コントローラー左側に FX1、コントローラー右側に FX2 を操作するツマミやボタンがあります。また、ミキサー部のエフェクトアサインボタンで、どのチャンネルにエフェクトをかけるかを設定します。



1 FX ASSIGN1 ボタン
各チャンネルに対して、エフェクトユニット FX1 をオン / オフします。

2 FX ASSIGN2 ボタン
各チャンネルに対して、エフェクトユニット FX2 をオン / オフします。

3 エフェクトパラメーター 1 ツマミ
エフェクトのパラメーター 1 を調整します。

4 エフェクトパラメーター 2 ツマミ
エフェクトのパラメーター 2 を調整します。

5 エフェクトパラメーター 3 ツマミ
エフェクトのパラメーター 3 を調整します。

6 FX BEATS ツマミ
エフェクト時間を調整します。

7 エフェクトパラメーター 1 ボタン
押す：
エフェクトのオン / オフ、またはパラメーター 1 を切り換えます。

[**SHIFT**] + 押す：
エフェクトの種類を切り換えます。

8 エフェクトパラメーター 2 ボタン
押す：
エフェクトのオン / オフ、またはパラメーター 2 を切り換えます。

[**SHIFT**] + 押す：
エフェクトの種類を切り換えます。

9 エフェクトパラメーター 3 ボタン
押す：
エフェクトのオン / オフ、またはパラメーター 3 を切り換えます。

[**SHIFT**] + 押す：
エフェクトの種類を切り換えます。

10 TAP (FX MODE) ボタン
押す：
エフェクトの基準となる BPM 値を、ボタンを指でたたいた間隔から算出します。
ボタンを長く押すと設定したエフェクト時間はリセットされます。

[**SHIFT**] + 押す：
エフェクトモードを切り換えます。
➲ 「エフェクトを使う」(p.20)

❖ エフェクト音をモニターするには

[**HEADPHONES MIX**] ツマミを [**CUE**] 側に回したとき、ヘッドホン [**CUE**] ボタンが押されているチャンネルの音声には、Serato DJ ソフトウェアのエフェクト音は出力されません。Serato DJ ソフトウェアのエフェクトを音モニターしたいときは、[**HEADPHONES MIX**] ツマミを [**MASTER**] 側に回して、マスター出力の音声でエフェクト音をモニターしてください。

ビートインジケーターの見かた

オートループで設定した拍やパッドプラスモードで設定した拍が、ビートインジケーターに表示されます。たとえば、ホットキューロールモードの場合、リピートする拍数が表示されます。
詳しくは、23 ページの「パッドプラスモードを使う」をご覧ください。

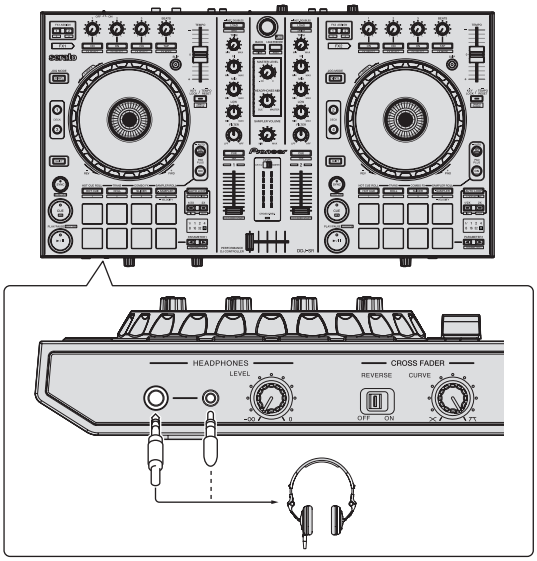
インジケーター	拍数	インジケーター	拍数
	1/32 拍		1 拍
	1/16 拍		2 拍
	1/8 拍		4 拍
	1/4 拍		8 拍
	1/2 拍		

- トランスパッド機能で 1/3 拍が選ばれているときは、ビートインジケーターは表示されません。

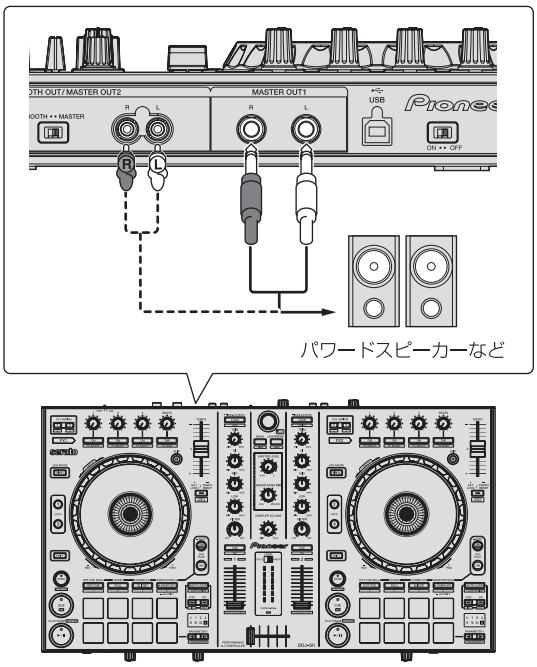
操作する (基本編)

接続する

1 どちらかの [HEADPHONES] 端子にヘッドホンを接続する

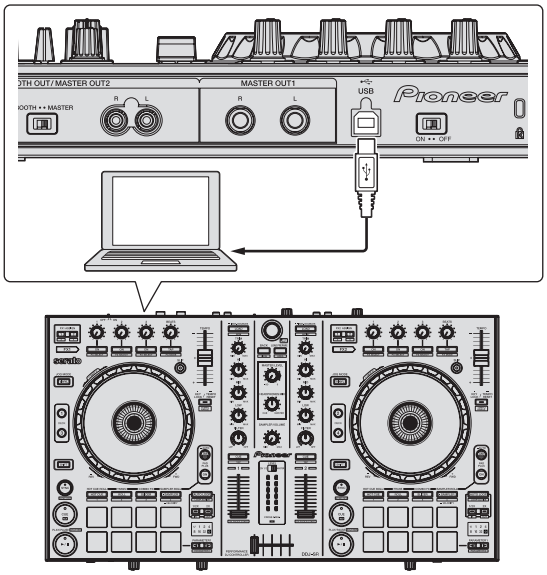


2 [MASTER OUT 1] 端子または [BOOTH OUT/MASTER OUT 2] 端子にパワードスピーカー、パワーアンプ、コンポなどの機器を接続する



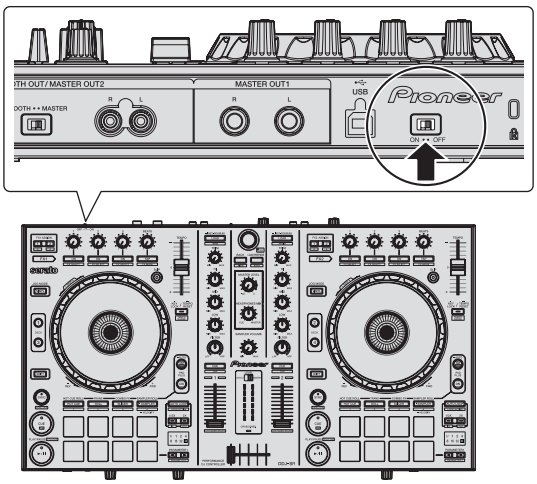
- 入出力端子の接続についての詳細は、「接続する」(p.7) を参照してください。

3 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続する



4 コンピューターの電源をオンにする

5 本機の背面部にある [ON/OFF] スイッチを [ON] 側に切り換えて、本機の電源をオンにする



本機の電源をオンにします。

- Windows をお使いのお客様
  本機をはじめてコンピューターに接続したとき、またはコンピューターの USB 端子をつなぎ変えたときに [**デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。**] メッセージが表示されることがあります。[**デバイスを使用する準備ができました。**] メッセージが表示されるまで、そのままお待ちください。

6 出力端子に接続された機器 (パワードスピーカー、パワーアンプ、コンポなど) の電源を入れる

- 入力端子にマイクやDJプレーヤーなどの外部機器を接続している場合は、それらの機器の電源も入れてください。

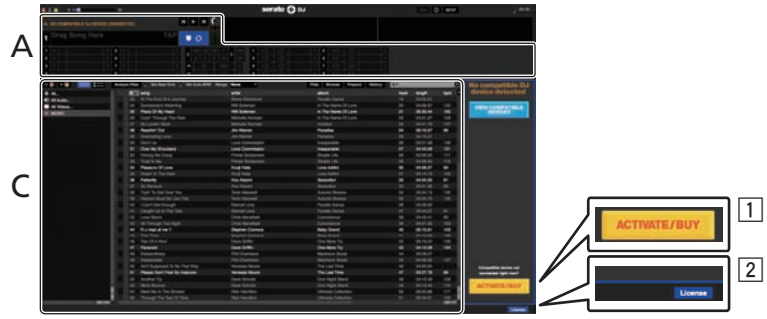
システムを起動する

Serato DJ を起動する

Windows のとき
Windows の [**スタート**] メニューから、[**すべてのプログラム**] > [**Serato**] > [**Serato DJ**] > [**Serato DJ**] のアイコンをクリックする

Mac OS X のとき
Finder で [**アプリケーション**] フォルダーを開いてから、[**Serato DJ**] のアイコンをクリックする

Serato DJ ソフトウェア起動直後のコンピューター画面



1 Serato DJ の初回起動時に表示される画面右側に [**ACTIVATE/BUY**] のアイコンが表示される場合がありますが、**DDJ-SR** をお使いのお客様はアクティベーションやライセンスを購入する必要はありません。
2 右側画面下部の [**DO NOT SHOW AGAIN**] にチェックを入れ、[**License**] をクリックしてそのままお使いください。

ビートグリッドの操作をするには
Serato DJ では、[**SYNC PREFERENCE**] の初期値が [**Simple sync**] に設定されており、ビートグリッドの操作を行うには [**Smart sync**] に切り換える必要があります。
SETUP − **DJ Preference** − **SYNC PREFERENCE**
設定画面の表示方法やビートグリッドの詳細については、Serato DJ のマニュアルで確認してください。

Serato DJ ソフトウェアに楽曲をロードしたときのコンピューター画面
コンピューター画面の左上にある [**Library**] をクリックして、プルダウンメニューから [**Vertical**] や [**Horizontal**] を選んで Serato DJ の画面を切り換えてください。

A デッキ部
ロードされたトラックの曲名、アーティスト名、BPM などのトラック情報や全体波形などを表示します。

B ウェーブフォームディスプレイ
ロードされたトラックの波形を表示します。

C ブラウザー部
ライブラリの中の楽曲や複数の楽曲をまとめて保存した crate を表示します。
本書は、本機のハードウェアとしての機能を中心に説明が構成されています。詳しい Serato DJ ソフトウェアの操作については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

楽曲をインポートする

以下では、楽曲をインポートする代表的な操作方法について説明します。

- Serato DJ ソフトウェアではさまざまなインポート方法があります。詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- すでに Serato 社の DJ ソフトウェア (Scratch Live、ITCH、Serato DJ Intro) をお使いのお客様で、楽曲ライブラリを作成されている場合は、以前作成した楽曲ライブラリをそのまま使うことができます。
- Serato DJ Intro をお使いのお客様で、すでに楽曲ライブラリを作成されている場合は、楽曲の再解析が必要になる場合があります。

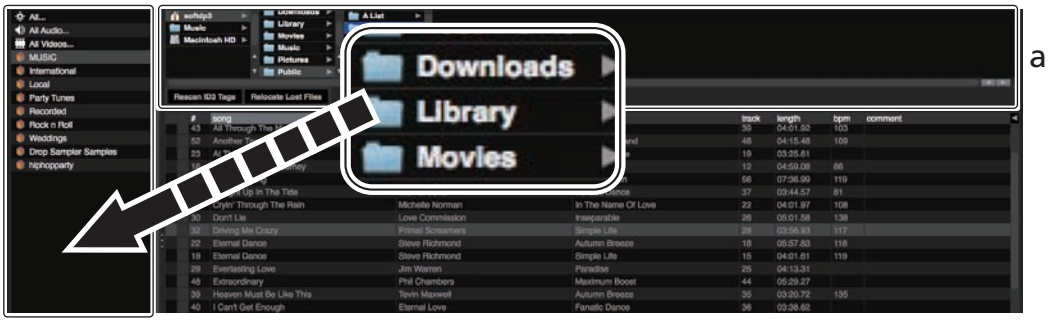
1 Serato DJ ソフトウェア画面の [Files] キーをクリックして [Files] パネルを開く

お使いのコンピューターおよびコンピューターに接続されている周辺機器の中身が [**Files**] パネルに表示されます。

2 [Files] パネル内でライブラリに加えたい楽曲が含まれているフォルダーをクリックして選択する

3 Serato DJ ソフトウェアの画面上で、選択したフォルダーを crates パネルにドラッグ & ドロップする

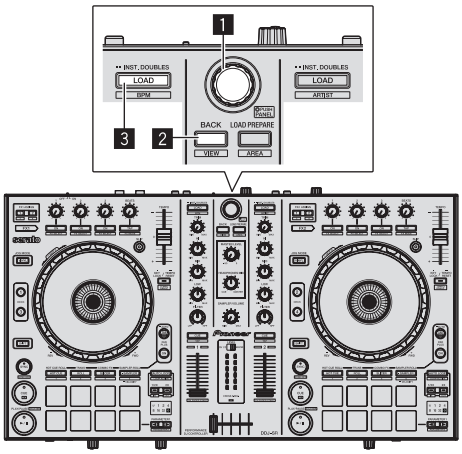
crate が作成され、ライブラリに楽曲が追加されます。



a [**Files**] パネル
b crates パネル

トラックをロードして再生する

以下では、デッキ [**1**] にトラックをロードする方法を例にして説明します。



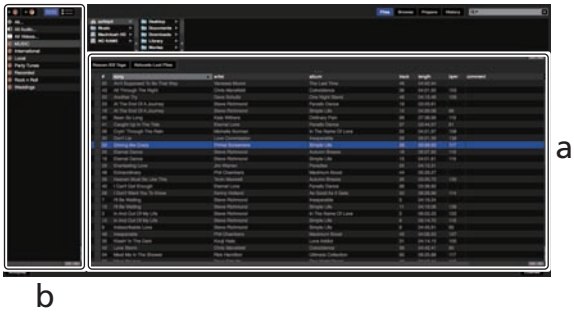
1 ロータリーセレクター

2 **BACK (VIEW)** ボタン

3 **LOAD** ボタン

1 本機の [BACK (VIEW)] ボタンを押して、コンピューター画面の crates パネルにカーソルを移動させ、ロータリーセレクターを回して、crate などを選ぶ

2 ロータリーセレクターを押して、コンピューター画面のライブラリにカーソルを移動させ、ロータリーセレクターを回して、トラックを選ぶ



a ライブラリ
b crates パネル

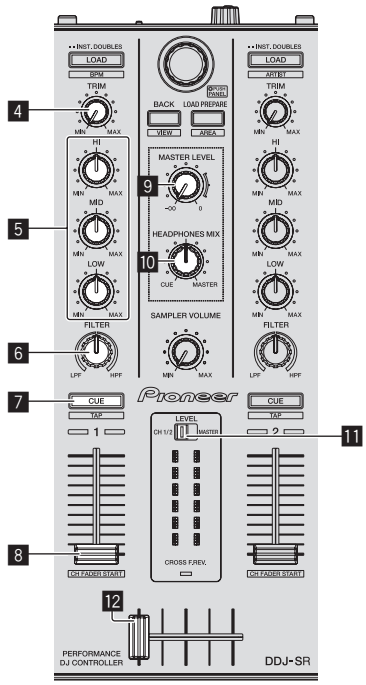
3 [LOAD] ボタンを押して、選んでいるトラックをデッキにロードする

トラックを再生して音声を出力する

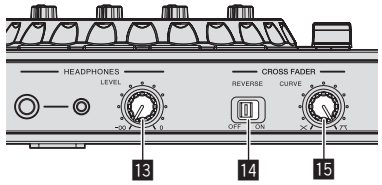
以下では、チャンネル 1 の音声を出力する方法を例にして説明します。

- [**MASTER OUT 1**] 端子および [**BOOTH OUT/MASTER OUT 2**] 端子に接続している機器 (パワーアンプ、パワードスピーカーなど) のボリュームを適切に設定してください。ボリュームを上げすぎると大音量で音声が出力されますのでご注意ください。

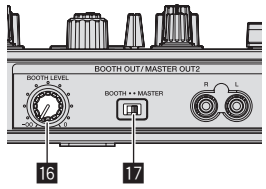
ミキサー部



本体前面部



本体背面部



4 TRIM ツマミ

5 EQ (HI、MID、LOW) ツマミ

6 FILTER ツマミ

7 ヘッドホン CUE/TAP ボタン

8 チャンネルフェーダー

9 MASTER LEVEL ツマミ

10 HEADPHONES MIX ツマミ

11 レベルインジケータースイッチ

12 クロスフェーダー

13 HEADPHONES LEVEL ツマミ

14 CROSS FADER REVERSE スイッチ

15 CROSS FADER CURVE 切換ツマミ

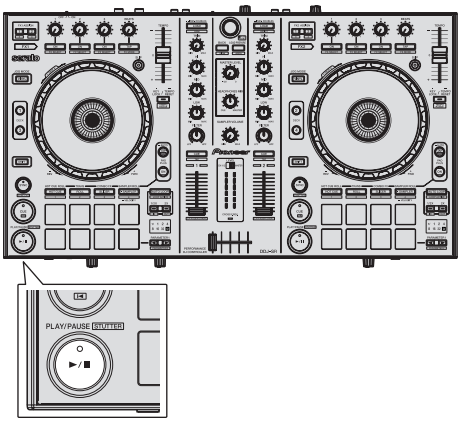
16 BOOTH LEVEL ツマミ

17 BOOTH/MASTER 切換スイッチ

1 以下のように、ツマミなどの位置を設定してください

ツマミなどの名称	位置
MASTER LEVEL ツマミ	左に回しきった位置
TRIM ツマミ	左に回しきった位置
EQ (**HI**、**MID**、**LOW**) ツマミ	中心位置
FILTER ツマミ	中心位置
レベルインジケータースイッチ	[**CH1/2**] の位置
チャンネルフェーダー	手前側の位置
CROSS FADER REVERSE スイッチ	[**OFF**] の位置
BOOTH/MASTER 切換スイッチ	[**MASTER**] の位置
BOOTH LEVEL ツマミ	左に回しきった位置

2 [▶/❚❚] ボタンを押してトラックを再生する



3 チャンネルフェーダーを奥側に動かす

4 [TRIM] ツマミを回す

チャンネルレベルインジケーターのオレンジ色のインジケーターがピークレベルで点灯するように [**TRIM**] を調整してください。

5 [MASTER LEVEL] ツマミを回して、スピーカーの音声レベルを調整する

[**MASTER OUT 1**] 端子および [**BOOTH OUT/MASTER OUT 2**] 端子から出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

- [**BOOTH/MASTER**] 切換スイッチを [**BOOTH**] の位置に設定した場合は、[**BOOTH LEVEL**] ツマミを回して、[**BOOTH OUT/MASTER OUT 2**] 端子から出力される音声レベルだけを適切な音量に調整できます。

ヘッドホンで音声をモニターする

以下のように、ツマミなどの位置を設定してください

ツマミなどの名称	位置
HEADPHONES MIX ツマミ	中心位置
HEADPHONES LEVEL ツマミ	左に回しきった位置

1 チャンネル 1 のヘッドホン [CUE] ボタンを押す

2 [HEADPHONES LEVEL] ツマミを回す

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

メモ

本機と Serato DJ ソフトウェアは、個性的な DJ プレイを可能にする多くの機能が搭載されています。それぞれの機能について、詳しくは取扱説明書および Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

- 本機の取扱説明書は Pioneer DJ サポートサイトからダウンロードできます。詳細については、「最新版の取扱説明書をダウンロードする」(p.32) をご覧ください。
- Serato DJ のソフトウェアマニュアルは、Serato.com からダウンロードできます。詳細については、「Serato DJ のソフトウェアマニュアルをダウンロードする」(p.32) をご覧ください。

システムを終了する

1 Serato DJ を終了する

ソフトウェアを閉じると、終了の確認のための画面がコンピューター上に表示されます。[**Yes**] をクリックして終了します。

2 本機の背面部にある [ON/OFF] スイッチを [OFF] 側に切り換えて、本機の電源をオフにする

3 USB ケーブルをコンピューターから抜く

操作する (応用編)

これ以降の操作説明の記載では、Serato DJ のソフトウェアマニュアルで説明されていない、本機と Serato DJ を組み合わせたときの特有な機能について説明しています。

パフォーマンスパッドを使う

DDJ-SR のパフォーマンスパッドでは、2 つのモードがあります。

パッドモード

「ホットキュー」、「ループロール」、「スライサー」、「サンプラー」をコントロールします。
それぞれの機能はパッドモードボタン ([**HOT CUE**] モードボタン、[**ROLL**] モードボタン、[**SLICER**] モードボタン、[**SAMPLER**] モードボタン) で切り換えます。

パッドプラスモード

「ホットキューロール」、「トランスパッド」、「コンボ FX」、「サンプラーロール」をコントロールします。

- パッドプラスモードの操作方法については、「パッドプラスモードを使う」(p.23) をご覧ください。

ホットキューを使う

ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。

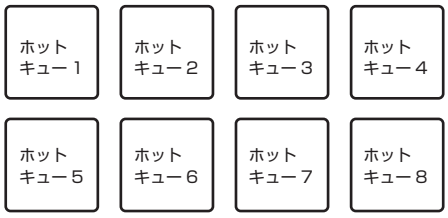
- ホットキューポイントは 1 トラックにつき 8 か所まで設定および保存できます。

1 [HOT CUE] モードボタンを押す

[**HOT CUE**] モードボタンが点灯し、ホットキューモードに切り換わります。

2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

各ホットキューポイントは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



3 ホットキューポイントが設定されたパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。

- [**SHIFT**] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

ループロールを使う

パフォーマンスパッドを押すとパッドに割り当てられた拍数のループが設定され、パッドから指を放してもループ再生を継続します。
ループロール再生中、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。ループロール再生を解除すると、解除するまでに経過した位置から再生を再開します。

1 [ROLL] モードボタンを押す

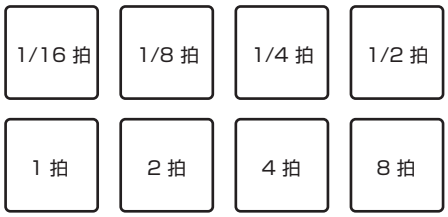
[**ROLL**] モードボタンが点灯し、ロールモードに切り換わります。

2 [PARAMETER◀] ボタンまたは [PARAMETER▶] ボタンを押す

ボタンを押すたびに、パフォーマンスパッドに割り当てられるループロールの拍が切り換わります。
以下の 4 通りの設定ができます。

① 1/32 から 4 拍
② 1/16 から 8 拍
③ 1/8 から 16 拍
④ 1/4 から 32 拍

たとえば、「1/16 から 8 拍」の設定では、パッドの設定値は以下のようになります。



コンピューター画面にはループロールの設定されている拍の範囲が表示されます。

3 パフォーマンスパッドを押し続ける

押されたパッドに割り当てられた拍数で、ループロール再生します。
ループロール再生中もバックグラウンドで再生を続けます。

- ループロール再生中に [**1/2X (IN)**] ボタンまたは [**2X (OUT)**] ボタンを押して再生中のループロール音の拍数を変えることができます。

4 パフォーマンスパッドから指を放す

ループロール再生が解除され、バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

スライサーを使う

指定した範囲を 8 分割し、分割したそれぞれの区間をパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てます。パフォーマンスパッドの 1 つを押している間、パッドに割り当てられた区間の音声をループ再生します。
パッドに割り当てられたの音声のループ再生中は、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま再生を続けます。パッドを放してループ再生が終わると、それまでに経過した位置から再生を再開します。

- スライサー機能はビートグリッドが設定されていないトラックではお使いいただけません。ビートグリッドの設定方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

1 [SLICER] モードボタンを押す

[**SLICER**] モードボタンが点灯し、スライサーモード 1 に切り換わります。

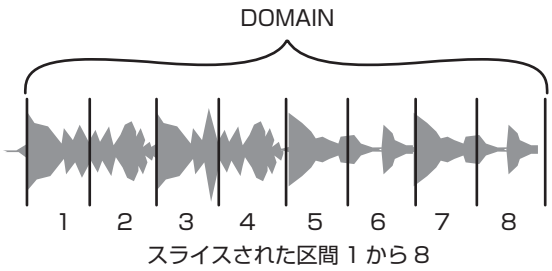
2 [SLICER] モードボタンを押して、スライサーモードを選ぶ

ボタンを押すたびにスライサーモード 1 とスライサーモード 2 が切り換わります。

➲「スライサーモード 1 とスライサーモード 2 について」(p.19)

3 [SHIFT] ボタンを押しながら、[PARAMETER◀] ボタンまたは [PARAMETER▶] ボタンを押す

スライサーの「DOMAIN」を設定します。[**SHIFT**] ボタンを押しながら、ボタンを押すたびに、DOMAIN の設定値が切り換わります。
「DOMAIN」は 2 拍、4 拍、8 拍、16 拍、32 拍、64 拍の 6 通りの設定ができます。
「DOMAIN」で設定した範囲を 8 分割した、それぞれのスライスされた区間は、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



スライスされた区間 1 から 8

4 [PARAMETER◀] ボタンまたは [PARAMETER▶] ボタンを押す

スライサーの「QUANTIZATION」を設定します。ボタンを押すたびに、QUANTIZATION の設定値が切り換わります。
「QUANTIZATION」は 1/8、1/4、1/2、1 の 4 通りの設定ができます。
「QUANTIZATION」の設定値によって、パッドを押している間のループ再生の長さを変更できます。たとえば、「QUANTIZATION」の設定が「1」のときはパッドに割り当てられた区間全体をループ再生し、「QUANTIZATION」の設定が「1/2」のときはパッドに割り当てられた区間の先頭から 1/2 の長さだけをループ再生します。

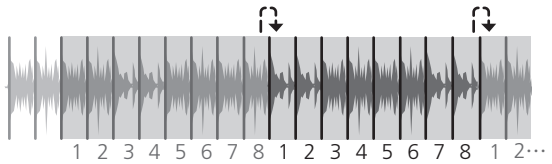
5 パフォーマンスパッドを押し続ける

パッドを押し続けている間、ループ再生を続けます。
- ループ再生の長さは「QUANTIZATION」の設定により異なります。

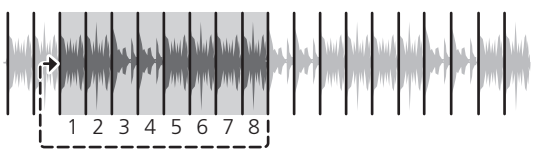
パッドから手を放すと、バックグラウンドで再生している位置に戻ります。

❖ スライサーモード 1 とスライサーモード 2 について

スライサーモード 1
再生位置が 8 分割された範囲の最後まで進むと、画面上の範囲が次の 8 分割表示に切り換わり、分割されたそれぞれの区間は新たに各パッドへ割り当てられます。



スライサーモード 2
再生位置が 8 分割された範囲の最後まで進むと、再生位置が 8 分割された範囲の最初に戻ります。



サンプラーを使う

サンプラー (SP-6) のサンプラースロットにロードされたトラックを、パフォーマンスパッドで再生できます。

1 [PANEL SELECT] ボタンを押して、コンピューター画面上に [SP-6] パネルを開く

2 [SAMPLER] モードボタンを押す

[**SAMPLER**] モードボタンが点灯し、サンプラーモードに切り換わります。

3 [PARAMETER◀] ボタンまたは [PARAMETER▶] ボタンを押す

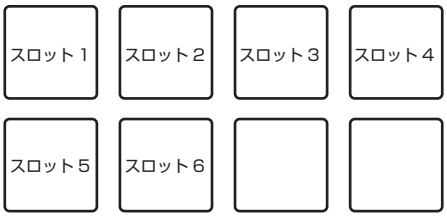
サンプラー（**SP-6**）のバンクを切り換えます。サンプラーは **A**、**B**、**C**、**D** の 4 つのバンクがあり、それぞれのバンクには 6 つのスロットがあります。

4 コンピュータ画面のマウス操作でトラックをドラッグ & ドロップし、[SP-6] パネルの各スロットに曲をロードする

サンプラーの設定とロードした楽曲が保存されます。

5 パフォーマンスパッドを押す

押したパッドに割り当てられたスロットの音声を再生します。



- [**SHIFT**] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、再生中のスロットの音声を停止します。

スリップを使う

スリップをオンに設定すると、スクラッチプレイ中、ループ再生中、またはホットキューの再生中にバックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。スクラッチプレイ、ループ再生、またはホットキューの再生を解除すると、解除するまでに経過した位置から通常の再生を再開します。
リズムを崩すことなくさまざまなパフォーマンスが可能です。
- [**SLIP**] ボタンは、スリップモードにしたときに点灯し、バックグラウンドで再生を続けている間は点滅します。

スリップスクラッチプレイ

1 [VINYL] ボタンを押す

2 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードに切り換えます。

3 再生中にジョグダイヤルの天面を操作してスクラッチプレイする

スクラッチプレイ中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

4 ジョグダイヤルの天面から手を放す

バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。
- スリップモードを解除するときは、もう一度 [**SLIP**] ボタンを押します。

スリップホットキュー

スリップ動作中にホットキューロールを行うこともできます。
➲「ホットキューロールを使う」(p.23)

1 [HOT CUE] モードボタンを押す

ホットキューモードにします。

2 ホットキューを設定する

パフォーマンスパッドを押してホットキューを設定します。

3 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。

4 再生中にパフォーマンスパッドを押し続ける
ホットキューを設定した位置から再生が始まります。パフォーマンスパッドを押し続けている間、再生を続けます。
ホットキューの再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

5 パフォーマンスパッドから指を放す
バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。
- スリップモードを解除するときは、もう一度 [**SLIP**] ボタンを押します。

スリップブレイキング

1 [SETUP] メニューの [DJ Preference] タブの中にある [BRAKING] — [STOP TIME] の設定を調整する
[**BRAKING**] の設定はトラックの再生状態から停止するまでの速度を調整します。
スリップブレイキングを使うときは、コンピューター画面の [**BRAKING**] のツマミを 9 時付近に調整してゆっくりと停止する設定にしておきます。

2 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。

3 再生中に [PLAY/PAUSE ▶/❚❚] ボタンを押す
ボタンを押し続けている間、ゆっくりと再生が止まります。ゆっくりと停止している間もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

4 もう一度、[PLAY/PAUSE ▶/❚❚] ボタンを押す
バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。
- スリップモードを解除するときは、もう一度 [**SLIP**] ボタンを押します。

スリップオートループ

1 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。

2 [1/2X (IN)] ボタンまたは [2X (OUT)] ボタンを押す
オートループの拍を選択します。

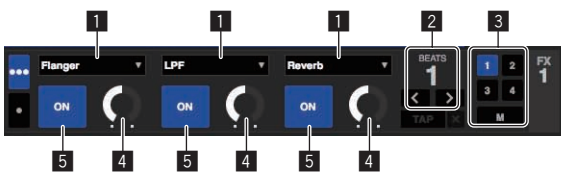
3 [AUTO LOOP] ボタンを押す
指定した拍数でループが設定されて、ループ再生が始まります。
ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

4 もう一度、[AUTO LOOP] ボタンを押す
ループが解除され、バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。
- スリップモードを解除するときは、もう一度 [**SLIP**] ボタンを押します。

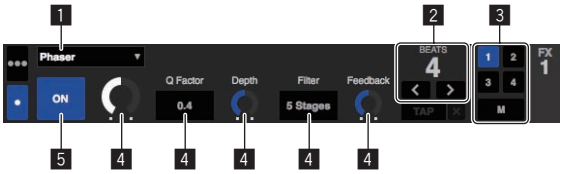
エフェクトを使う

Serato DJ には FX1 と FX2 の 2 つのエフェクトユニットがあります。これらのエフェクトはマスターアウトに適用したり、選択したデッキに適用することができます。ここでは、本機を操作してエフェクトユニット 1 (FX1) を割り当てる方法の説明をします。

Serato DJ のエフェクトユニットの画面表示
マルチ FX モード : エフェクトユニットあたり、最大で 3 つのエフェクトが選択可能で、各エフェクトにはひとつの調整可能なパラメーターがあります。



シングル FX モード : エフェクトユニットあたり、ひとつのエフェクトが選択可能で、調整可能な複数のパラメーターがあります。

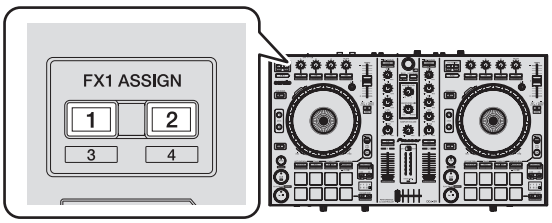


1 エフェクトの種類が表示されます。
2 エフェクト時間が表示されます。
3 エフェクトユニットが割り当てられているデッキ番号が表示されます。
4 エフェクトパラメーターの状態が表示されます。
5 エフェクトのオン / オフが表示されます。

マルチ FX モードで操作する

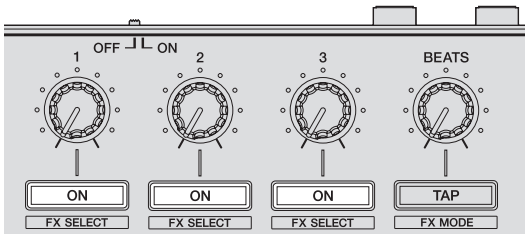
1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[TAP (FX MODE)] ボタンを押して Serato DJ の DJ-FX モードをマルチ FX モードにする
ボタンを操作するたびに、マルチ FX モードとシングル FX モードが交互に切り換わります。

2 左側の [FX ASSIGN] ボタンを押して、エフェクトを割り当てるデッキを選ぶ



デッキ 1 にエフェクトを割り当てたいときは [**FX ASSIGN**]1 ボタン、デッキ 2 にエフェクトを割り当てたいときは [**FX ASSIGN**]2 ボタンを押します。
Serato DJ の画面上で、エフェクトを割り当てたデッキの番号がハイライトで表示されます。
- デッキ 3 にエフェクトを割り当てたい場合は、[**SHIFT**] ボタンを押しながら [**FX ASSIGN**]1 ボタンを押し、デッキ 4 にエフェクトを割り当てたい場合は、[**SHIFT**] ボタンを押しながら [**FX ASSIGN**]2 ボタンを押します。
- マスターアウトにエフェクトをかける場合は、コンピューター上で [**M**] をクリックします。

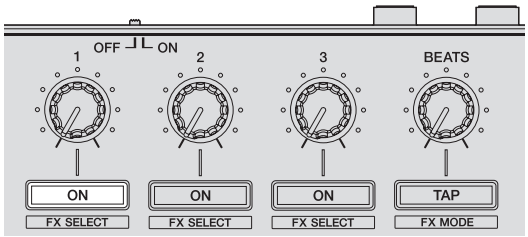
3 [SHIFT] ボタンを押しながら、エフェクトパラメーター 1 ボタンを押して、1 番目のエフェクトの種類を選ぶ
2 番目のエフェクトの種類を選ぶには、[**SHIFT**] ボタンを押しながら、エフェクトパラメーター 2 ボタンを押します。
3 番目のエフェクトの種類を選ぶには、[**SHIFT**] ボタンを押しながら、エフェクトパラメーター 3 ボタンを押します。



現在選ばれているエフェクトの種類は、Serato DJ の画面上に表示されます。

4 エフェクトパラメーター 1 ボタンを押して、1 番目のエフェクトをオンにする

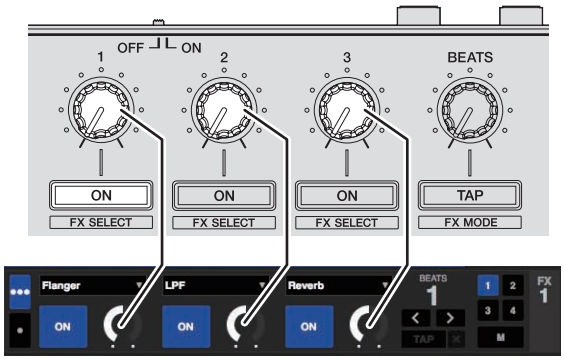
エフェクトパラメーター 2 ボタンを押すと、2 番目のエフェクトがオンになります。
エフェクトパラメーター 3 ボタンを押すと、3 番目のエフェクトがオンになります。



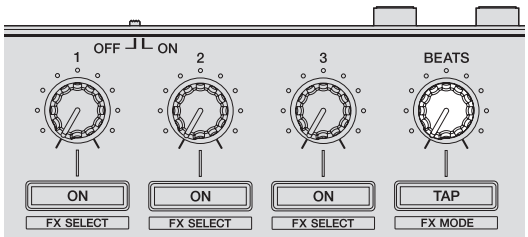
Serato DJ の画面上で、対応するエフェクトの [**ON**] キーがハイライトで表示されます。

5 エフェクトパラメーター 1 ツマミを操作して、1 番目のエフェクトのパラメーターを調整する

2 番目のエフェクトのパラメーターを調整するには、エフェクトパラメーター 2 ツマミを操作します。
3 番目のエフェクトのパラメーターを調整するには、エフェクトパラメーター 3 ツマミを操作します。



6 [FX BEATS] ツマミを回して、エフェクト時間を調整する



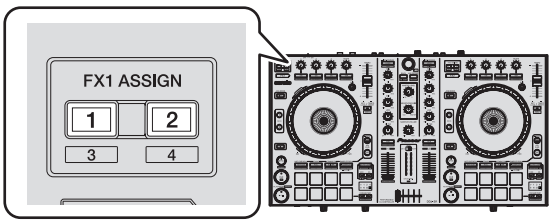
- エフェクト時間の基準となる BPM 値を、[**TAP (FX MODE)**] ボタンをたたく間隔から設定することもできます。
詳しくは、22 ページの「エフェクトのテンポモードを切り換える」をご覧ください。

シングル FX モードで操作する

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[TAP (FX MODE)] ボタンを押して Serato DJ の DJ-FX モードをシングル FX モードにする

ボタンを操作するたびに、マルチ FX モードとシングル FX モードが交互に切り換わります。

2 左側の [FX ASSIGN] ボタンを押して、エフェクトを割り当てるデッキを選ぶ



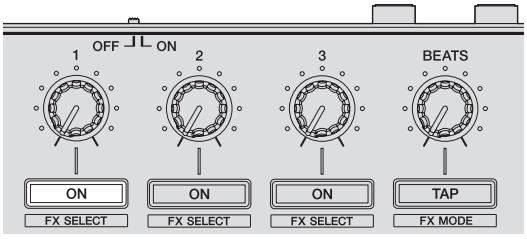
デッキ 1 にエフェクトを割り当てたいときは [**FX ASSIGN**]1 ボタン、デッキ 2 にエフェクトを割り当てたいときは [**FX ASSIGN**]2 ボタンを押します。
Serato DJ の画面上で、エフェクトを割り当てたデッキの番号がハイライトで表示されます。

- デッキ 3 にエフェクトを割り当てたい場合は、[**SHIFT**] ボタンを押しながら [**FX ASSIGN**]1 ボタンを押し、デッキ 4 にエフェクトを割り当てたい場合は、[**SHIFT**] ボタンを押しながら [**FX ASSIGN**]2 ボタンを押します。
- マスターアウトにエフェクトをかける場合は、コンピューター上で［**M**］をクリックします。

3 [SHIFT] ボタンを押しながら、エフェクトパラメーターボタンのいずれかを押してエフェクトの種類を選ぶ

選ばれたエフェクトは、Serato DJ の画面上に表示されます。

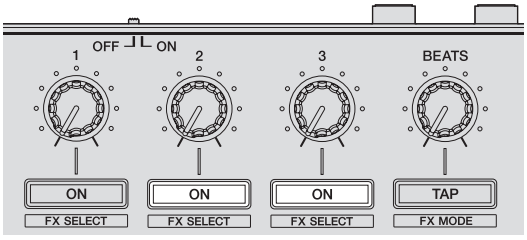
4 エフェクトパラメーター 1 ボタンを押して、エフェクトをオンにする



ボタンを押すたびに、エフェクトのオン / オフが切り換わります。

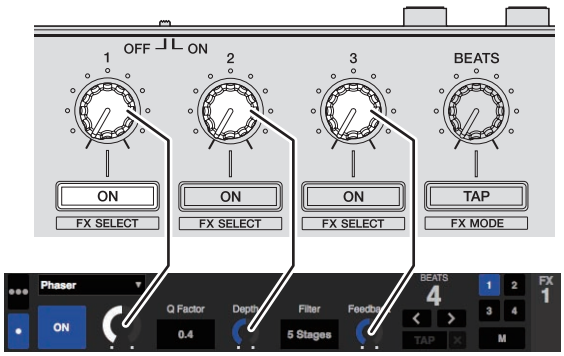
- Serato DJ の画面上で、エフェクトの [**ON**] キーがハイライト表示されます。

5 エフェクトパラメーター 2 ボタンまたはエフェクトパラメーター 3 ボタンを操作して、エフェクトのパラメーターを切り換える

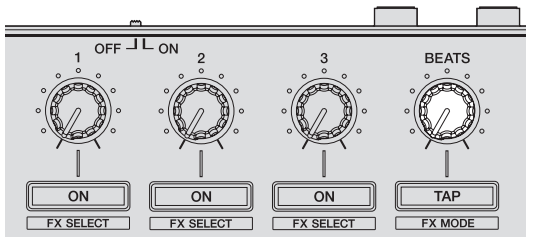


- エフェクトの種類によっては、ボタンを操作しても点灯しない場合があります。

6 エフェクトパラメーターツマミを操作して、エフェクトのパラメーターを調整する



7 [FX BEATS] ツマミを回して、エフェクト時間を調整する



- エフェクト時間の基準となる BPM 値を、[**TAP (FX MODE)**] ボタンをたたく間隔から設定することもできます。
  詳しくは、22 ページの「エフェクトのテンポモードを切り換える」をご覧ください。

エフェクトのテンポモードを切り換える

Serato DJ のエフェクトには、エフェクトのテンポを設定する方法として、「オートテンポモード」と「マニュアルテンポモード」の 2 つモードがあります。

- 初期状態はオートテンポモードに設定されています。

❖ オートテンポモード

トラックの BPM 値がエフェクトのテンポの基準となります。

❖ マニュアルテンポモード

エフェクトの基準となる BPM 値を、[**TAP (FX MODE)**] ボタンを指でたたいた間隔から算出します。

❖ マニュアルテンポモードに切り換える

オートテンポモード中に、[TAP (FX MODE)] ボタンを 3 回以上押す

- マニュアルテンポモード中に、[**TAP (FX MODE)**] ボタンを 1 秒以上押すと、オートテンポモードへ切り換わります。

チャンネルフェーダースタート機能を使う

チャンネルフェーダーでテンポラリーキューポイントを設定し、チャンネルフェーダーを奥側に動かしてテンポラリーキューポイントから再生します。

- ユーティリティーモード 1 でチャンネルフェーダースタート設定が無効になっていたときは、この機能は働きません。
  ➲ 設定の変更方法については、「ユーティリティーモード 1 を起動する」(p.26) をご覧ください。

1 キューを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの [**CUE**] ボタンを押します。

- 一時停止中に、[**SHIFT**] ボタンを押しながらチャンネルフェーダーを奥側から一番手前の位置にしたときも、キューを設定することができます。

2 [SHIFT] ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを一番手前の位置から奥側に動かす

設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に [**SHIFT**] ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーの位置を一番手前に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります (バックキュー)。
- キューが設定されていないときはトラックの先頭から再生を始めます。
- ユーティリティーモード 1 でチャンネルフェーダースタートを開始すると同時に SYNC する設定に変更することもできます。
- キュー待機中に、[**SHIFT**] ボタンを押しながらチャンネルフェーダーを奥側から一番手前の位置にしたときは、設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。

マイクの音声をミックスする

ワイヤレスマイク等の出力レベルの高い機器を接続したとき、マイク音声が歪む場合があります。出力レベル切り換えやゲイン調整ができる場合は、本機のマイク端子に入力される信号レベルをなるべく低くなるように調整してください。
詳しくは、お使いの接続機器の取扱説明書をご覧ください。

- 本機のマイク端子の基準入力レベル / 入力インピーダンスは、−52 dBu/10 kΩ です。

1 [MIC] 端子にマイクを接続する

2 システムを起動する

➲ 「システムを起動する」(p.14)

3 [MIC LEVEL] ツマミを回す

出力される音声レベルを調整します。
右に回しすぎると大音量で音声が出力されますのでご注意ください。

DJ プレーヤーなどの音声をミックスする

1 [AUX IN] 端子に DJ プレーヤーなどのラインレベル出力機器を接続する

2 システムを起動する

➲ 「システムを起動する」(p.14)

3 本体背面部の [AUX IN LEVEL] ツマミでレベルを調整する

ブースモニターに音声を出力する

1 本体背面部の [BOOTH OUT/MASTER OUT 2] 端子に、ブースモニター用パワードスピーカーなどを接続する

2 システムを起動する

➲ 「システムを起動する」(p.14)

3 本体背面部の [BOOTH/MASTER] 切換スイッチを [BOOTH] 側にスライドさせる

4 [BOOTH LEVEL] ツマミを操作して、ブースモニターから出力される音声レベルを調整する

曲を解析する

本機の [**LOAD**] ボタンを押してデッキに曲をロードすると曲の解析が実行されますが、解析が終了するまで BPM や波形表示に時間がかかる場合があります。
Serato DJ ソフトウェアをオフラインプレーヤーとして使用すると、事前に曲を解析することができます。解析の終了している曲は、デッキに曲をロードしたあとすぐに BPM や波形が表示されるようになります。
Serato DJ でのオフラインプレーヤーや曲の解析方法についての詳細は、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

- 楽曲の数によっては、解析に時間がかかる場合があります。

操作する (上級編)

これ以降の操作説明の記載では、Serato DJ のソフトウェアマニュアルで説明されていない、本機と Serato DJ を組み合わせたときの特有な機能について説明しています。

パッドプラスモードを使う

パッドプラスモード

「ホットキューロール」、「トランスパッド」、「コンボ FX」、「サンプラーロール」をコントロールします。
それぞれの機能は、[**PAD PLUS ON**] ボタンを押してパッドプラスモードをオンにしてから、パッドモードボタン ([**HOT CUE**] モードボタン、[**ROLL**] モードボタン、[**SLICER**] モードボタン、[**SAMPLER**] モードボタン) で切り換えます。

- ホットキューモード、ロールモード、スライサーモード、サンプラーモードのいずれかがオンの状態で、[**PAD PLUS ON**] ボタンを押すと該当するパッドプラスモードに切り換わります。

パッドモード		パッドプラスモード
ホットキューモード	⬌	ホットキューロールモード
ロールモード	⬌	トランスパッドモード
スライサーモード	⬌	コンボ FX モード
サンプラーモード	⬌	サンプラーロールモード

- 初期状態は、トラックに設定されている BPM で動作するオートテンポモードになっています (トラックに BPM が設定されていないときは、トラックの解析をやり直して BPM を設定するか、マニュアルテンポモードで BPM を設定してください)。
  ➲「パッドプラスモードのテンポモードを切り換える」(p.25)
- モーメンタリーモードがオンのときは、パッドプラスモードには切り換わりません ([**PAD PLUS ON**] ボタンを押しているときのみ、パッドプラスモードの機能が使えます)。

ホットキューロールを使う

デッキにロードされているトラックの BPM の拍タイミングに連動して、ホットキューの再生を繰り返す機能です。

- 初期値は 1/4 拍です。初期値はユーティリティーモード 2 で変更することができます。

➲「ホットキューロール機能の拍の初期値を設定する」(p.28)

1 [HOT CUE] モードボタンを押す

ホットキューモードにします。

2 パフォーマンスパッドを押して、ホットキューを設定する

➲「ホットキューを使う」(p.18)

3 [PAD PLUS ON] ボタンを押して、パッドプラスモードをオンにする

ホットキューロールモードに切り換わり、ビートインジケーターの「+」が点灯します。

4 [PARAMETER◀] ボタンまたは [PARAMETER▶] ボタンを押して、リピートする拍を選択する

[**PARAMETER◀**] ボタンまたは [**PARAMETER▶**] ボタンを押すたびに、拍が変わります。
1/32⬌1/16⬌1/8⬌1/4⬌1/2⬌1

- 現在設定されているリピートする拍は、ビートインジケーターに表示されます。

5 再生中にパフォーマンスパッドを押し続ける

ホットキューを設定した位置から再生を開始します。
パッドを押し続けている間、ホットキューを設定した位置からビートインジケーターに表示された拍の長さで繰り返し再生を続けます。

6 パフォーマンスパッドから指を放す

通常の再生に戻ります。

- パッドプラスモードを解除するときは、[**PAD PLUS ON**] ボタンを押します。

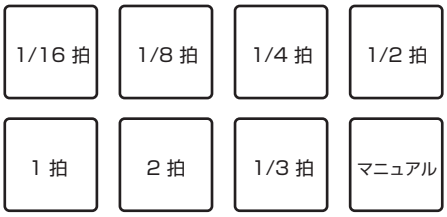
トランスパッドを使う

デッキにロードされているトラックの BPM の拍タイミングに連動して、音をカットする機能です。

1 [PAD PLUS ON] ボタンを押して、パッドプラスモードをオンにする

2 [ROLL] モードボタンを押す

トランスパッドモードに切り換わり、ビートインジケーターの「+」が点灯します。
パフォーマンスパッドに割り当てられるトランスパッドの拍は以下のようになっています。



- パッド 8(「マニュアル」) はパッドを押し続けている間、拍タイミングに関係なく音をカットし続けます。

3 再生中にパフォーマンスパッドを押し続ける

パッドを押し続けている間、拍タイミングに連動して音をカットします。

- パッドを押し続けている間、ビートインジケーターに拍が表示されます (ただし、1/3 拍のときは表示されません)。
- トランスパッド機能はチャンネルフェーダーを一番下まで下げているときには動作しません。チャンネルフェーダーは上げた状態でお使いください。

4 パフォーマンスパッドから指を放す

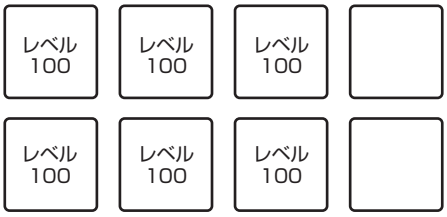
通常の再生に戻ります。

- パッドプラスモードを解除するときは、[**PAD PLUS ON**] ボタンを押します。

コンボ FX を使う

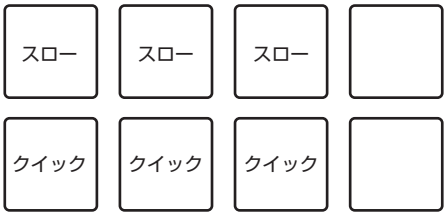
パッドを押している間、あらかじめ設定されたエフェクトのレベルとフィルターの動作モードで、エフェクトとフィルターを同時にオンにする機能です。デッキ 1 側のパフォーマンスパッドでエフェクトユニット 1 を、デッキ 2 側のパフォーマンスパッドでエフェクトユニット 2 をコントロールできます。

- エフェクトのレベルとフィルターの動作モードを初期値から変更したい場合は、ユーティリティーモード 2 で変更してください。
- 初期設定では、エフェクトのレベルのパラメーターは以下のように設定されています。



➲「コンボ FX のレベルの初期値を設定する」(p.28)

- 初期設定では、フィルター動作モードのパラメーターは以下のように設定されています。



➲「コンボ FX のフィルター動作モードの初期値を設定する」(p.28)

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、ロータリーセレクターを押して、コンピュータ画面上に [DJ-FX] パネルを開く

2 [SHIFT] ボタンを押しながら、[TAP (FX MODE)] ボタンを押して Serato DJ の DJ-FX モードをマルチ FX モードにする

- コンボ FX 機能は、Serato DJ のマルチ FX モードに対応した機能です。シングル FX モードでは正しく動作しません。エフェクトモードはマルチ FX モードにしてご使用ください。
  ➲「エフェクトを使う」(p.20)

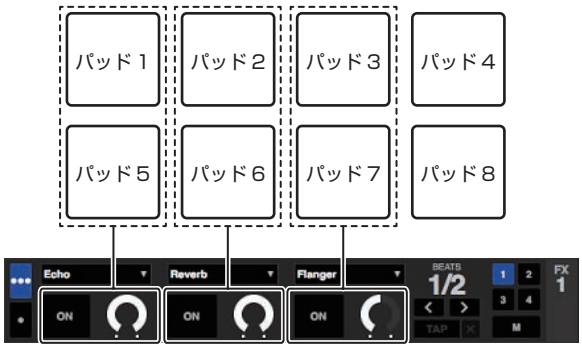
3 [SHIFT] ボタンを押しながら、エフェクトパラメーターボタンを押してエフェクトの種類を選ぶ

4 [FILTER] ツマミをセンター位置に設定する

5 [PAD PLUS ON] ボタンを押して、パッドプラスモードをオンにする

6 [SLICER] モードボタンを押す
コンボ FX モードに切り換えます。

7 再生中にパフォーマンスパッドを押し続ける
パッドを押している間、あらかじめ設定されたエフェクトレベル、および設定されたフィルターパラメーターでエフェクトをオンにします。
各パッドは下図のパラメーターをコントロールできます。



- 上下に並んでいるパッドは、同時に操作できません (たとえば、パッド 1 を押しながら、パッド 5 を押すと、パッド 5 の設定値でエフェクトがオンになります)。

8 再生中にパッド 4 またはパッド 8 を押す
パッド 4 またはパッド 8 を押すたびに、エフェクト拍がトラックの拍タイミングに連動して切り換わります。パッド 4 はエフェクト拍を長く、パッド 8 はエフェクト拍を短くします。
1/16⇔1/8⇔1/4⇔1/2⇔1⇔2⇔4⇔8
現在のエフェクト拍はビートインジケーターに表示されます。

- [**PARAMETER◀**] ボタンまたは [**PARAMETER▶**] ボタンを押して、エフェクトの拍を変更することもできます。
- コンボ FX 機能の動作中に、エフェクトパラメーターツマミ、エフェクトパラメーターボタン、[**FILTER**] ツマミを同時に操作すると、正しく動作しない場合があります。
- コンボ FX のエフェクト拍の値は電源がオンの間、前回設定した値が保存されます。
- 通常のエフェクトを操作する状態 (パッドプラスモードがオフの状態) とコンボ FX (パッドプラスモードがオンの状態) でエフェクト拍の値が一致しない場合があります。

9 パフォーマンスパッドから指を放す
コンボ FX によるエフェクトをオフにします。

- パッドプラスモードを解除するときは、[**PAD PLUS ON**] ボタンを押します。

サンプラーロールを使う

デッキにロードされているトラックの BPM の拍タイミングに連動して、サンプル音を繰り返す機能です。

- 初期値は 1/4 拍です。初期値はユーティリティーモード 2 で変更することができます。

➲「サンプラーロール機能の拍の初期値を設定する」(p.28)

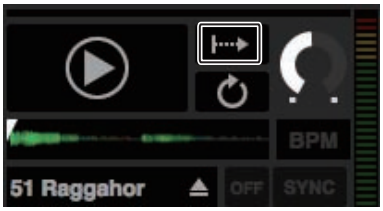
- サンプラーロール機能は、コンピュータ画面上の [**SP-6**] パネルでトリガーモードを選んでご使用ください。その他の再生モードでは正しく動作しません。

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、ロータリーセレクターを押して、コンピュータ画面上に [SP-6] パネルを開く

2 [SAMPLER] モードボタンを押す
サンプラーモードにします。

3 トラックをサンプラースロットにロードする
[**SHIFT**] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押して、トラックをサンプラースロットにロードします。
コンピューター画面のマウス操作でトラックをドラッグ & ドロップし、サンプラースロットにロードします。

4 マウスを操作して、コンピューター画面上のサンプラースロットの再生モードをトリガーモードに設定する



: トリガーモード

: ホールドモード

: オン / オフモード

- サンプラースロットの再生モードの詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

5 [PAD PLUS ON] ボタンを押して、パッドプラスモードをオンにする
サンプラーロールモードに切り換えます。

6 [PARAMETER◀] ボタンまたは [PARAMETER▶] ボタンを押して、リピートする拍を選択する
[**PARAMETER◀**] ボタンまたは [**PARAMETER▶**] ボタンを押すたびに、拍が変わります。
1/32⇔1/16⇔1/8⇔1/4⇔1/2⇔1

- 現在設定されているリピートする拍は、ビートインジケーターに表示されます。

7 再生中にパフォーマンスパッドを押し続ける
サンプラースロットの再生を開始します。パッドを押し続けている間、ビートインジケーターに表示された拍のタイミングで、スタート位置に繰り返し戻って再生を続けます。

- サンプラーロール機能では、複数のサンプラースロットを同時にリピート再生できます。

8 パフォーマンスパッドから指を放す
サンプラースロットの再生が通常に戻ります。

- パッドプラスモードを解除するときは、[**PAD PLUS ON**] ボタンを押します。
- [**SHIFT**] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、再生中のスロットを停止します。

ホールド機能を使う

ホールド機能を使うと、パッドプラスモードの各機能はパフォーマンスパッドから指を放しても、通常の再生に戻らずに機能が有効のままとなります。
もう一度パフォーマンスパッドを押すと通常の再生に戻ります。
ここではホットキューロール機能を例に説明します。

1 [HOT CUE] モードボタンを押す
ホットキューモードにします。

2 パフォーマンスパッドを押して、ホットキューを設定する

3 [PAD PLUS ON] ボタンを押して、パッドプラスモードをオンにする
ホットキューロールモードに切り換わり、ビートインジケーターの「+」が点灯します。

4 [PARAMETER◀] ボタンまたは [PARAMETER▶] ボタンを押して、リピートする拍を選択する

5 [SHIFT] ボタンを押しながら、[PAD PLUS TAP] ボタンを押す
ホールド機能のスタンバイ状態となります（[**PAD PLUS TAP**] ボタンが点滅します）。

6 再生中にパフォーマンスパッドを押す
パッドから指を放しても、ホットキューの繰り返し再生が続きます。

7 もう一度、パフォーマンスパッドを押す
通常の再生に戻ります。
- パッドプラスモードを解除するときは、[**PAD PLUS ON**] ボタンを押します。

一時的にパッドプラスモードの機能を使う（モーメンタリーモード）

モーメンタリーモードをオンにすると、パッド操作してもパッドモードの動作となり、[**PAD PLUS ON**] ボタンを押しながらパッド操作した時のみ、パッドプラスモードを操作することができます。
- 初期設定はモーメンタリーモードは無効になっています。
- モーメンタリーモードをオンにするとホールド機能は無効になります。

ここではホットキューロール機能を例に説明します。

1 ユーティリティーモード2でモーメンタリーモードをオンにする
➲「モーメンタリーモードを設定する」(p.29)

2 [HOT CUE] モードボタンを押す
ホットキューモードにします。

3 パフォーマンスパッドを押して、ホットキューを設定する

4 [PAD PLUS ON] ボタンを押しながら、[PARAMETER◀] ボタンまたは [PARAMETER▶] ボタンを押して、リピートする拍を選択する

5 再生中に [PAD PLUS ON] ボタンを押しながら、パフォーマンスパッドを押し続ける
ホットキューを設定した位置から再生を開始します。
パッドを押し続けている間、ホットキューを設定した位置からビートインジケーターに表示された拍の長さで繰り返し再生を続けます。

6 [PAD PLUS ON] ボタンとパフォーマンスパッドから指を放す
通常の再生に戻ります。

パッドプラスモードのテンポモードを切り換える

パッドプラスモードには、テンポを設定する方法として、「オートテンポモード」と「マニュアルテンポモード」の 2 つモードがあります。
- 初期状態はオートテンポモードに設定されています。

オートテンポモード
トラックの BPM 値がテンポの基準となります。

マニュアルテンポモード
基準となる BPM 値を、[**TAP (FX MODE)**] ボタンを指で叩いた間隔から算出します。

❖ マニュアルテンポモードに切り換える

オートテンポモード中に、[PAD PLUS TAP] ボタンを 3 回以上押す
- マニュアルテンポモード中に、[**PAD PLUS TAP**] ボタンを 1 秒以上押すと、オートテンポモードへ切り換わります。
- マニュアルテンポモードで設定した BPM 値は表示されません。

サンプラーベロシティを使う

[**SAMPLER**] モードボタンを 1 秒以上押すと、サンプラーベロシティモードをオン / オフします。
サンプラーベロシティモードがオンのとき、パフォーマンスパッドをたたく強さに応じて、サンプル音量のレベルが変化します。パフォーマンスパッドを強くたたくと音量レベルが大きくなり、パフォーマンスパッドを弱くたたくと音量レベルが小さくなります。
サンプラーベロシティモードがオフのときは、パフォーマンスパッドをたたく強さに関係なく、Serato DJ ソフトウェアで設定した音量レベルでトリガーされます。
- サンプラーベロシティモードのオン / オフは電源を入れるたびにリセットされ、本機を起動した際はオフになっています。
- ユーティリティーモード 1 でベロシティカーブの設定ができます。

ユーティリティーモード

以下の設定を変更することができます。

ユーティリティーモード 1
- Serato DJ 以外の DJ ソフトウェア設定
- チャンネルフェーダースタート設定
- マスター出力のアッテネーターレベル設定
- スリップモードフラッシング設定
- デモモード設定
- サンプラーベロシティモードのベロシティカーブ設定
- サンプラーベロシティモードのアフタータッチ設定
- サンプラーベロシティモードの MIDI 設定

ユーティリティーモード 2
- ホットキューロール機能の拍の初期値の設定
- コンボ FX のレベルの初期値の設定
- コンボ FX のフィルター動作モードの初期値の設定
- コンボ FX の拍の初期値の設定
- サンプラーロール機能の拍の初期値の設定
- モーメンタリーモードの設定
- パッドプラスモードフラッシングの設定

ユーティリティーモード 1 を起動する

DJ アプリケーションを起動したままユーティリティーモードを起動させると、設定する状態が正しく表示されない場合があります。

1 コンピューター上の DJ アプリケーションを終了させる

2 本機の背面部にある [ON/OFF] スイッチを [OFF] 側にスライドして、本機の電源をオフにする

本機の電源をオフにします。

3 左側のデッキの [SHIFT] ボタンと [PLAY/PAUSE ▶/❚❚] ボタンの両方を押しながら、本機の背面部にある [ON/OFF] スイッチを [ON] 側にスライドする

ユーティリティーモード 1 が起動します。

4 ユーティリティーモード 1 にしたあとで、設定を変更したい項目についてコントローラーを操作する

変更可能な設定については、以下の説明をご覧ください。

5 本機の背面部にある [ON/OFF] スイッチを [OFF] 側にスライドして、設定を保存する

設定を保存するには、本機の背面部にある [**ON/OFF**] スイッチを [**OFF**] 側にスライドして、ユーティリティーモード 1 を終了させます。

設定を変更する

Serato DJ 以外の DJ ソフトウェアを使う

Serato DJ 以外の DJ ソフトウェアを操作するコントローラーとして使用するときに、この設定を変更します。
- 初期設定は Serato DJ を使う設定です。

ユーティリティーモード 1 を起動して、左側のデッキの [KEY LOCK] ボタンを押す

- [**KEY LOCK**] ボタン消灯：Serato DJ を使う設定
- [**KEY LOCK**] ボタン点灯：Serato DJ 以外の DJ ソフトウェアを使う設定

チャンネルフェーダースタートの設定を変更する

チャンネルフェーダースタート機能の設定を変更できます。
- 初期設定は SYNC 設定なしのチャンネルフェーダースタートです。

ユーティリティーモード 1 を起動して、左側のデッキのエフェクトパラメーターボタンのいずれかを押す

- エフェクトパラメーター 1 ボタン点灯 : SYNC 設定ありのチャンネルフェーダースタート (チャンネルフェーダースタート開始と同時に SYNC 機能が働きます。)
- エフェクトパラメーター 2 ボタン点灯 : SYNC 設定なしのチャンネルフェーダースタート (チャンネルフェーダースタート開始時に SYNC 機能は働きません。)
- エフェクトパラメーター 3 ボタン点灯：チャンネルフェーダースタート機能は無効

マスター出力のアッテネーターレベルを設定する

- 初期設定は 0 dB です。

ユーティリティーモード 1 を起動して、左側のデッキの [HOT CUE] モードボタン、[ROLL] モードボタン、[SLICER] モードボタンのいずれかを押す

- [**HOT CUE**] モードボタン点灯：0 dB (アッテネーターなし)
- [**ROLL**] モードボタン点灯：− 3 dB
- [**SLICER**] モードボタン点灯：− 6 dB

スリップモードフラッシング設定を無効にする

スリップモードをオンにしたとき、ジョグダイヤルのインジケーター、[**AUTO LOOP**] ボタン、[**PLAY/PAUSE ▶/❚❚**] ボタンなど、スリップモードで操作できるボタンが点滅します。この設定はボタンの点滅を無効にすることができます。
- 初期設定ではスリップモードフラッシングは有効です。

ユーティリティーモード 1 を起動して、左側のデッキの [SLIP] ボタンを押す

- [**SLIP**] ボタン点灯：スリップモードフラッシング 有効
- [**SLIP**] ボタン消灯：スリップモードフラッシング 無効

デモモードを無効にする

本機は通常の使用状態で 10 分間何の操作もないとき、デモモードを実行しますが、このデモモードはオフにすることができます。
- 初期設定ではデモモードはオンです。
- デモモード中は本機のいずれかのツマミやボタンを操作すると、デモモードを解除できます。

ユーティリティーモード 1 を起動して、[TAP (FX MODE)] ボタンを押す

- [**TAP (FX MODE)**] ボタン点灯：デモモード 有効
- [**TAP (FX MODE)**] ボタン消灯：デモモード 無効

サンプラーベロシティモードのベロシティカーブ設定を変更する

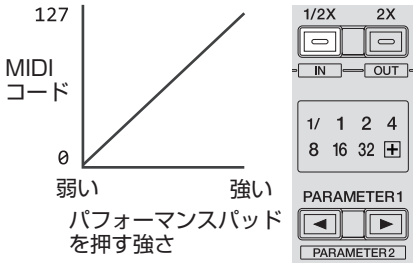
サンプラーベロシティモードのベロシティカーブを設定します。ベロシティカーブは 4 種類のうちから選択できます。

- 初期設定はカーブ 1 です。

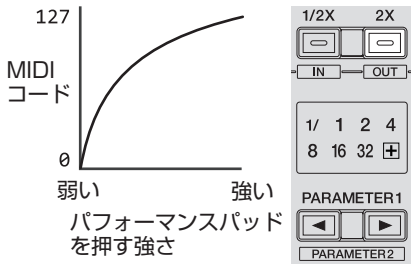
ユーティリティーモード 1 を起動して、[1/2X (IN)]、[2X (OUT)]、[PARAMETER◀]、[PARAMETER▶] ボタンのいずれかを押す

[**1/2X (IN)**] ボタン、[**2X (OUT)**] ボタン、[**PARAMETER◀**] ボタン、[**PARAMETER▶**] ボタンの点灯状況により、現在の設定値を示します。

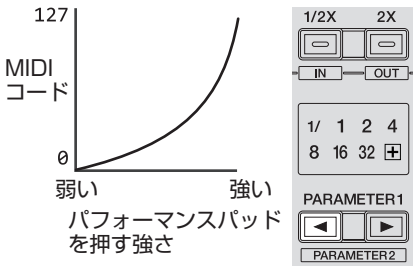
カーブ 1



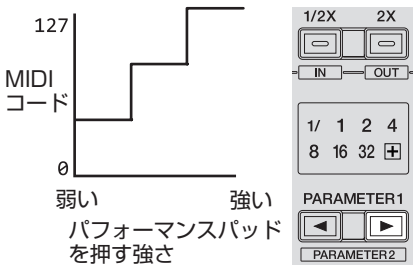
カーブ 2



カーブ 3



カーブ 4



サンプラーベロシティモードのアフタータッチ設定を有効にする

本機のパフォーマンスパッドのサンプラーベロシティモードがオンのとき、アフタータッチ設定のオン / オフができます。

アフタータッチ設定 無効：パフォーマンスパッドを押した瞬間の押した強さに応じて、サンプラーの音量が変化し、パッドを押し続けている間の音量は変化しません。

アフタータッチ設定 有効：パフォーマンスパッドを押した瞬間の押した強さ、およびパッドを押し続けている間の押す強さに応じて、サンプラーの音量が変化します。

- 初期設定ではアフタータッチ設定は無効です。

ユーティリティーモード 1 を起動して、左側のデッキの [SAMPLER] モードボタンを押す

- [**SAMPLER**] モードボタン点灯：アフタータッチ設定 有効
- [**SAMPLER**] モードボタン消灯：アフタータッチ設定 無効

ジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔を調整する

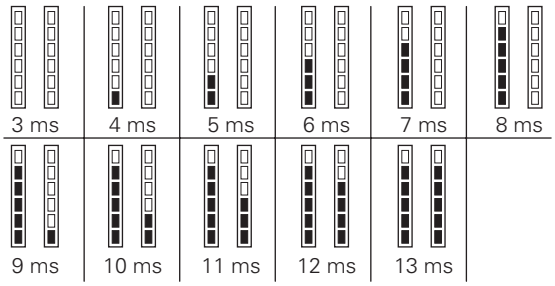
本機はジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔を調整するモードを備えています。

本機から送信される、ジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔が短い場合、お使いのコンピューターの OS やスペックによってはジョグダイヤルが正しく動作しないことがあります。そのような場合は以下の手順に従って MIDI メッセージの送信間隔を調整してください。

- MIDI 送信間隔は短い方の設定から、問題の起きない長さまで上げてください。
- 初期設定は 3 ms です。

ユーティリティーモード 1 を起動して、左側のデッキの [SHIFT] ボタンを押す

ボタンを押すたびに、MIDI の送信間隔の設定が変わります。マスターレベルインジケーターの点灯により現在の設定値がわかります。



ユーティリティーモード 2 を起動する

ＤＪアプリケーションを起動したままユーティリティーモードを起動させると、設定する状態が正しく表示されない場合があります。

1 コンピューター上のＤＪアプリケーションを終了させる

2 本機の背面部にある [ON/OFF] スイッチを [OFF] 側にスライドして、本機の電源をオフにする

本機の電源をオフにします。

3 右側のデッキの [SHIFT] ボタンと [PLAY/PAUSE ▶/II] ボタンの両方を押しながら、本機の背面部にある [ON/OFF] スイッチを [ON] 側にスライドする

ユーティリティーモード 2 が起動します。

4 ユーティリティーモード 2 にしたあとで、設定を変更したい項目についてコントローラーを操作する

変更可能な設定については、以下の説明をご覧ください。

5 本機の背面部にある [ON/OFF] スイッチを [OFF] 側にスライドして、設定を保存する

設定を保存するには、本機の背面部にある [**ON/OFF**] スイッチを [**OFF**] 側にスライドして、ユーティリティーモード 2 を終了させます。

設定を変更する

ホットキューロール機能の拍の初期値を設定する

ホットキューロール機能を使うときに、リピートする拍の初期値を設定します。

- 初期設定では 1/4 になっています。

1 ユーティリティーモード 2 を起動して、左側のデッキの [HOT CUE] モードボタンを押す

ビートインジケーターに現在設定されている拍が表示されます。

2 左側デッキの [PARAMETER◀] ボタン、または [PARAMETER▶] ボタンを押す

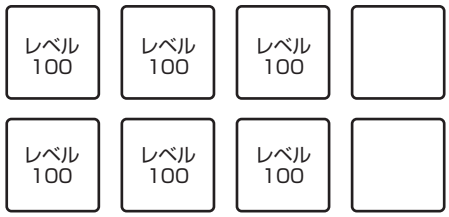
[**PARAMETER◀**] ボタンまたは [**PARAMETER▶**] ボタンを押すたびに、設定値が変わります。

1/32⇔1/16⇔1/8⇔1/4⇔1/2⇔1

コンボ FX のレベルの初期値を設定する

コンボ FX 機能でのエフェクトのパラメーター (レベル / 深さ) の初期値を設定します。

- 初期設定では、エフェクトのレベルのパラメーターは以下のように設定されています。

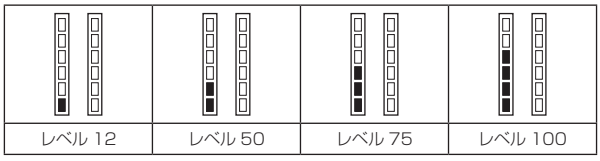


- 設定値はパッドごとに異なる設定を行えますが、左右のパフォーマンスパッドは同じ設定になります。
- パッド 4 とパッド 8 はこの設定には使用しません。

1 ユーティリティーモード 2 を起動して、右側のデッキの [HOT CUE] モードボタンを押す

2 パフォーマンスパッドの中から、設定したいパッドを押す

押したパッドが点灯し、現在設定されているレベルがレベルインジケーターに表示されます。



3 右側デッキの [PARAMETER◀] ボタン、または [PARAMETER▶] ボタンを押す

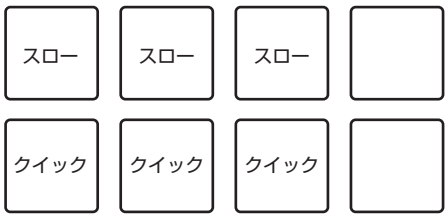
[**PARAMETER◀**] ボタンまたは [**PARAMETER▶**] ボタンを押すたびに、設定値が変わります。

レベル 12⇔ レベル 50⇔ レベル 75⇔ レベル 100

コンボ FX のフィルター動作モードの初期値を設定する

コンボ FX 機能でのエフェクトのパラメーター (フィルター動作モード) の初期値を設定します。

- 初期設定では、フィルター動作モードのパラメーターは以下のように設定されています。

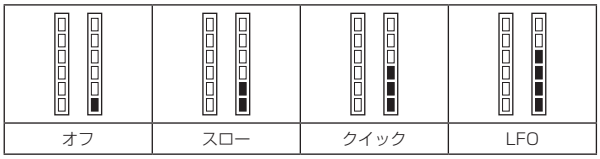


- 設定値はパッドごとに異なる設定を行えますが、左右のパフォーマンスパッドは同じ設定になります。
- パッド 4 とパッド 8 はこの設定には使用しません。

1 ユーティリティーモード 2 を起動して、右側のデッキの [ROLL] モードボタンを押す

2 パフォーマンスパッドの中から、設定したいパッドを押す

押したパッドが点灯し、現在設定されている値がレベルインジケーターに表示されます。



3 右側デッキの [PARAMETER◀] ボタン、または [PARAMETER▶] ボタンを押す

[**PARAMETER◀**] ボタンまたは [**PARAMETER▶**] ボタンを押すたびに、設定値が変わります。

オフ ⇔ スロー ⇔ クイック ⇔LFO

- オフ : フィルターの効果を無効にします。
- スロー : パッドを押している間、フィルター (HPF) 効果を徐々に強くします。
- クイック : パッドを押した瞬間、フィルター (HPF) 効果を素早くかけます。
- LFO : パッドを押している間、フィルター (HPF) とフィルター (LPF) の効果を交互にかけます。

サンプラーロール機能の拍の初期値を設定する

サンプラーロール機能を使うときに、リピートする拍の初期値を設定します。

- 初期設定では 1/4 になっています。

1 ユーティリティーモード 2 を起動して、左側のデッキの [SAMPLER] モードボタンを押す

ビートインジケーターに現在設定されている拍が表示されます。

2 左側デッキの [PARAMETER◀] ボタン、または [PARAMETER▶] ボタンを押す

[**PARAMETER◀**] ボタンまたは [**PARAMETER▶**] ボタンを押すたびに、設定値が変わります。

1/32⇔1/16⇔1/8⇔1/4⇔1/2⇔1

モーメンタリーモードを設定する

モーメンタリーモードをオンにすると、通常のホットキュー等のパフォーマンスとパッドプラスモードの機能を同時に組み合わせて使うことができます。
- 初期設定はモーメンタリーモードは無効になっています。

ユーティリティーモード 2 を起動して、左側のデッキの [PAD PLUS ON] ボタンを押す

[**PAD PLUS ON**] ボタン点灯：モーメンタリーモードは有効
[**PAD PLUS ON**] ボタン消灯：モーメンタリーモードは無効

パッドプラスモードフラッシングを設定する

パッドプラスモード機能を使うときに、使用するボタンを点滅させることができます。
- 初期設定では、パッドプラスモードフラッシングは有効になっています。
- パッドプラスモードフラッシングの設定は、モーメンタリーモードは無効に設定されている場合のみ有効にできます。

ユーティリティーモード 2 を起動して、左側のデッキの [PAD PLUS TAP] ボタンを押す

[**PAD PLUS TAP**] ボタン点灯：パッドプラスモードフラッシングは有効
[**PAD PLUS TAP**] ボタン消灯：パッドプラスモードフラッシングは無効

ジョグダイヤルのタッチセンサーの感度を調整する

本機はジョグダイヤルのタッチセンサーの感度を調整するモードを備えています。
- ジョグダイヤルの感度調整モードで設定した値は、本機の電源をオフにしても保持されます。
- 左右のジョグダイヤルの感度は別々に調整することができます。

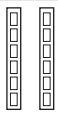
以下では、左側のジョグダイヤルの感度を調整する方法を例にして説明します。

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[DECK 1] ボタンまたは [DECK 3] ボタンを押す

感度調整モードになり、現在の感度がレベルインジケーターに表示されます。
- 感度調整モード中、次の操作は 3 秒以内に行ってください。(ボタンを押してから 3 秒経過すると、設定値を保存して通常のインジケーター表示に戻ります。)

2 [SHIFT] ボタンを押しながら、[DECK 1] ボタンまたは [DECK 3] ボタンを押す

[**DECK 1**] ボタンを押すたびに感度が高くなり、[**DECK 3**] を押すたびに感度が低くなります。
ジョグダイヤルの感度を調整すると、設定した感度がレベルインジケーターに表示されます。

		
低 (-6)	調整なし (± 0)	高 (+6)

ジョグダイヤルの感度は 13 段階で調整できます。
- 初期設定は「調整なし」になっています。
- 右側のジョグダイヤルの感度は、[**SHIFT**] ボタンを押しながら、[**DECK 2**] ボタンまたは [**DECK 4**] ボタンを押して調整します。

3 設定が終わったら、3 秒間そのまま待つ

ボタンを押してから 3 秒経過すると設定値が保存され、通常のインジケーター表示に戻ります。

その他

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目および Pioneer DJ サポートサイトへアクセスして、[**DDJ-SR**] の [**FAQ**] を確認してください。
  また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、34 ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源をオフにしてから 1 分後に再度電源をオンにすることで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
電源が入らない。	電源の [**ON/OFF**] スイッチは [**ON**] になっていますか？	電源の [**ON/OFF**] スイッチを [**ON**] にしてください。
	付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	付属の USB ケーブルを正しく接続してください。
	接続されているコンピューターの USB ポートからの給電が不足していませんか？	十分な給電ができる USB ポートに接続してください。
		DJ プレイに使用しない機器が別の USB ポートに接続されている場合は、それらも抜いて電力を確保してください。
		接続先のコンピューターをバッテリーで駆動させずに、AC 電源から電源供給を行ってみてください。
本機が認識されない。	付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	付属の USB ケーブルを正しく接続してください。
	USB ハブを使っていませんか？	USB ハブは使えません。コンピューターと本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。
	ドライバソフトウェアは正しく設定されていますか？ (Windows)	ドライバソフトウェアを正しく設定してください。(Mac OS X ではドライバーソフトウェアは必要ありません。) (4 ページ)
	Serato DJ ソフトウェアのバージョンは最新になっていますか？	最新のソフトウェアにアップデートしてください。
	ユーティリティーモード 1 で「Serato DJ 以外の DJ ソフトウェアを使う設定」になっていませんか？	ユーティリティーモード 1 で「Serato DJ を使う設定」に設定してください。
ライブラリにトラックが表示されない。	音楽ファイルをインポートしていますか？	音楽ファイルをインポートしてください。 インポート方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
	トラックが入っていない crate または subcrate を選んでいませんか？	トラックが入っている crate または subcrate を選ぶか、crate または subcrate にトラックを追加してください。
ライブラリに iTunes の曲が表示されない	[**SETUP**] メニューの [**Library + Display**] タブの中の [**Show iTunes Library**] にチェックが入っていますか？	[**Show iTunes Library**] にチェックを入れてください。 インポート方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
	トラックが入っていない crate または subcrate を選んでいませんか？	トラックが入っている crate または subcrate を選ぶか、crate または subcrate にトラックを追加してください。
音が出ない、または音が小さい。	[**TRIM**] ツマミ、チャンネルフェーダー、クロスフェーダーおよび [**MASTER LEVEL**] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	[**TRIM**] ツマミ、チャンネルフェーダー、クロスフェーダーおよび [**MASTER LEVEL**] ツマミを正しい位置に設定してください。
	接続しているパワードスピーカーなどは正しく設定されていますか？	パワードスピーカーなどの外部入力切換や音量を正しく設定してください。
	接続ケーブルが正しく接続されていますか？	接続ケーブルを正しく接続してください。
	端子やプラグが汚れていませんか？	端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
	ドライバソフトウェアは正しく設定されていますか？ (Windows)	ドライバソフトウェアを正しく設定してください。(Mac OS X ではドライバーソフトウェアは必要ありません。) (4 ページ)
音が歪む。	[**MASTER LEVEL**] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	マスターレベルインジケーターのオレンジ色のインジケーターがピークレベルで点灯するように [**MASTER LEVEL**] ツマミを調整してください。
	[**AUX IN**] 端子、[**MIC**] 端子に入力される音声レベルは適切に設定されていますか？	接続する機器に合わせて各端子に入力される音声レベルを適切に設定してください。
	[**TRIM**] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	チャンネルレベルインジケーターのオレンジ色のインジケーターがピークレベルで点灯するように [**TRIM**] ツマミを調整してください。
	ワイヤレスマイク等の出力レベルの高い機器を接続していませんか？	ワイヤレスマイク等の出力レベルの高い機器を接続したとき、マイク音声が歪む場合があります。出力レベル切り換えやゲイン調整ができる場合は、本機のマイク端子に入力される信号レベルをなるべく低くなるように調整してください。 詳しくは、お使いの接続機器の取扱説明書をご覧ください。 本機のマイク端子の基準入力レベル / 入力インピーダンスは、– 52 dBu/10 kΩ です。
DJ ソフトウェアを使っているとき再生中の音声がとぎれる。	ドライバソフトウェアのレイテンシーの値は適切ですか？	ドライバソフトウェアのレイテンシーの値を適切に設定してください。
		DJ ソフトウェアのレイテンシーの値を適切に設定してください。
[**AUX IN**] 端子に接続した機器の音量が小さい。	[**AUX IN**] 端子の [**VOL**] ツマミの位置が正しく設定されていますか？	接続する機器に合わせて音声レベルを適切に設定してください。 (22 ページ)
ASIO ドライバを設定すると音がとぎれる。	Serato DJ を起動したまま ASIO ドライバを設定していませんか？	ASIO ドライバは Serato DJ を起動する前に設定してください。 (6 ページ)

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
インジケーターが点滅して動作がおかしくなった。	–	付属のUSBケーブルを一度抜いて1分以上たってから再び差し込むことで正常に動作することがあります。 それでも同じ症状が現れるときは、USBケーブルを抜いてから修理を依頼してください。
Serato DJの動作が不安定になる。	ソフトウェアのバージョンは最新になっていますか？	Serato DJの無料アップデートをウェブサイトよりダウンロードできます。最新のバージョンをご利用ください。(4ページ)
	Serato DJ以外のソフトウェアを同時使用していませんか？	コンピューターの負荷を減らすために、他のアプリケーションを終了してください。 それでも不安定な状態が続く場合は、ワイヤレスネットワークなどの無線接続、ウィルス対策ソフト、スクリーン·セーバー、省電力モードなどを無効にしてみてください。 (4ページ)
	コンピューターに他のUSB機器を接続していませんか？	他のUSB機器をコンピューターから外してください。 他のUSBオーディオデバイスと同時にコンピューターに接続すると、正常に動作および認識されないことがあります。
	USBハブを使っていませんか？	USBハブは使えません。コンピューターと本機を付属のUSBケーブルで直接接続してください。
	本機が接続されているUSB端子に不具合がある。	お使いのコンピューターに複数のUSB端子がある場合は、別のUSB端子に接続してみてください。
	バッテリ駆動させているノートブック型コンピューターに接続していませんか？	ノートブック型コンピューターにコンセントから電源供給してください。 (ノートブック型コンピューターの設定によっては、バッテリ駆動中に省電力にするため、コンピューター自体のパフォーマンスを自動的に落とす場合があります。)(4ページ)
	USBのバッファサイズが小さい。	USBバッファサイズを上げてみてください。(6ページ)
チャンネルフェーダースタートが動作しない。	キューが設定されていますか？	キューを設定してください。(22ページ)
	ユーティリティーモード1の設定が間違っていませんか？	ユーティリティモード1でチャンネルフェーダースタートの設定を、「SYNC設定有りのチャンネルフェーダースタート」または「SYNC設定無しのチャンネルフェーダースタート」にしてください。
BPMが表示されない。 SYNC機能、オートループ機能が動作しない。	曲が解析されていますか？	曲を解析してください。
	オフラインプレーヤーの設定で[**Set Auto BPM**]にチェックが入っていますか？	[**Set Auto BPM**]にチェックを入れた状態で再度、曲を解析してください。 曲の解析方法についての詳細は、Serato DJのソフトウェアマニュアルをご覧ください。
BPMは表示されるがビートグリッドが表示されない。 スライサー機能が動作しない。 スキップモードが動作しない。	オフラインプレーヤーの設定で[**Set Auto BPM**]と[**Set Beatgrid**]にチェックが入っていますか？	[**Set Auto BPM**]と[**Set Beatgrid**]にチェックを入れた状態で、再度、曲を解析してください。 曲の解析方法についての詳細は、Serato DJのソフトウェアマニュアルをご覧ください。
		ビートグリッドを設定してください。ビートグリッドの設定方法の詳細については、Serato DJのソフトウェアマニュアルをご覧ください。
	[**SETUP**]メニューの[**DJ Preference**]タブで[**Smart sync**]が選択されていますか？	Serato DJでは、[**SYNC PREFERENCE**]の初期値が[**Simple sync**]に設定されており、ビートグリッドの操作を行うには[**Smart sync**]に切り換える必要があります。
BPMやビートグリッドが正しく表示されていない。 ビートグリッドがずれている。	オフラインプレーヤーの設定でBPM解析範囲は適切に設定されていますか？	BPM解析範囲を変更してから、再度、曲を解析してください。それでも解決しない場合は手動でビートグリッドやBPMを設定してください。
		ビートグリッドを調整してください。ビートグリッドの調整方法の詳細については、Serato DJのソフトウェアマニュアルをご覧ください。
		曲の再生中に[**SHIFT**]ボタンを押しながらヘッドホン[**CUE**]ボタンをビートに合わせて叩いてください(TAP機能)。曲のBPMやビートグリッドを調整できます。 タップ機能を使うと、コンピューター画面のデッキ部の表示が[**Beatgrid Editor**]表示に切り換わります。デッキ部の表示を元に戻すには、コンピューター画面の[**Edit Grid**]をクリックします。(11ページ)
サンプラーベロシティモードでパフォーマンスパッドを押し続けているときに、押す強さに応じてサンプラーの音量が変化しない。	アフタータッチが無効になっていませんか？	ユーティリティーモード1でアフタータッチを有効にしてください。
コンボFX機能が動作しない。	Serato DJのエフェクトがシングルFXモードになっていませんか？	Serato DJのエフェクトがマルチFXモードにしてご使用ください。
	エフェクトの種類とパラメーターは適切に設定されていますか？	コンボFX機能はエフェクトの種類とパラメーター(フィルター動作モード)の組合せによってエフェクトの効果に違いがあります。 パラメーター(フィルター動作モード)の設定を「クイック」でご使用される場合、Delay、Echo、Reverb、Pan Delay、Version Echoなどを選択すると効果的です。 パラメーター(フィルター動作モード)の設定を「スロー」や「LFO」でご使用される場合、Delay、Echo、Reverb、Pan Delay、Version Echoに加えPhaser、Flanger、Distortionなどでも効果的です。 また、パラメーター(レベル/深さ)を変えることでもコンボFX機能の効果は変わります。特にVersion Echoを選択される場合は、パラメーター(レベル/深さ)を「レベル50」または「レベル75」の設定でご使用されると効果的です。Version Echoを選択した場合にパラメーター(レベル/深さ)を「レベル100」の設定でご使用されると、残響音が永久に続くことがありますのでご注意ください。(残響音を消すにはエフェクトパラメーターツマミを左へ回します。) HPF、LPF、LFO Filterを選択される場合はパラメーター(フィルター動作モード)の設定を「オフ」でご使用されると効果的です。
トランスパッド機能が動作しない。	チャンネルフェーダーを一番下まで下げていませんか？	トランスパッド機能はチャンネルフェーダーを一番下まで下げているときには動作しません。チャンネルフェーダーは上げた状態でお使いください。
サンプラーロールが動作しない。	サンプラースロットの再生モードはトリガーモードに設定されていますか？	サンプラーロール機能は、コンピュータ画面上の[**SP-6**]パネルでトリガーモードを選んでご使用ください。その他の再生モードでは正しく動作しません。(24ページ)

マニュアルを入手する

各操作説明書はPDF 形式のファイルで作成されている場合があります。PDF 形式 のファイルをご覧いただくには、Adobe® Reader® をインストールする必要があります。Adobe Reader をお持ちでないお客様はCD-ROMのメニュー画面のダウンロードリンクからインストールを行ってください。

最新版の取扱説明書をダウンロードする

1 CD-ROM をコンピューターの光学ドライブに挿入する

CD-ROM のメニューが表示されます。
CD-ROM を挿入しても CD-ROM のメニューが表示されないときは、以下に従って操作してください。

- Windows のとき
  [**スタート**] メニューの [**コンピュータ** (または**マイコンピュータ**)] から光学ドライブを開き [**CD_menu.exe**] のアイコンをダブルクリックしてください。
- Mac OS X のとき
  Finder で直接 [**CD_menu.app**] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROM のメニューが表示されたら、[DDJ-SR: 取扱説明書をダウンロードする (PDF ファイル)] を選んでから [開始] をクリックする

3「接続にはインターネット環境が必要です。インターネットに接続しますか？」と表示されるので、[はい] をクリックする

ウェブブラウザーが起動し、Pioneer DJ サポートサイトが表示されます。

4 Pioneer DJ サポートサイトで「DDJ-SR」の「取扱説明書」をクリックする

5 ダウンロードページの中から必要な言語をクリックする

取扱説明書のダウンロードが始まります。

Serato DJ のソフトウェアマニュアルをダウンロードする

1 CD-ROM をコンピューターの光学ドライブに挿入する

CD-ROM のメニューが表示されます。
CD-ROM を挿入しても CD-ROM のメニューが表示されないときは、以下に従って操作してください。

- Windows のとき
  [**スタート**] メニューの [**コンピュータ** (または**マイコンピュータ**)] から光学ドライブを開き [**CD_menu.exe**] のアイコンをダブルクリックしてください。
- Mac OS X のとき
  Finder で直接 [**CD_menu.app**] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROM のメニューが表示されたら、[Serato DJ: ソフトウェア マニュアルをダウンロードする (PDF ファイル)] を選んでから [開始] をクリックする

3「接続にはインターネット環境が必要です。インターネットに接続しますか？」と表示されるので、[はい] をクリックする

ウェブブラウザーが起動し、Pioneer DJ サポートサイトが表示されます。

- CD-ROM のメニューを終了させるときは、[**終了**] をクリックしてください。

4 Pioneer DJ サポートサイトで [DDJ-SR] の [ソフトウェア対応情報] をクリックする

[**サポート情報**] が表示されます。

5 Serato DJ のダウンロードページへのリンクをクリックする

Serato DJ のダウンロードページが表示されます。

6「Serato.com」のユーザーアカウントでログインする

登録した E-mail アドレスおよびパスワードを入力し、「Serato.com」にログインします。

7 ダウンロードページの右側にある「More Downloads」の中から「Serato DJ x.x Software Manual」をクリックしてください

Serato DJ のソフトウェアマニュアルのダウンロードが始まります。

他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する

本機は、ボタンやツマミなどの操作情報を汎用の MIDI 形式でも出力します。MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたコンピューターと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。また、コンピューターで再生している音楽ファイルの音声を本機から出力できます。
Serato DJ ソフトウェア以外の DJ ソフトウェアを操作するコントローラーとして使用するときは、ユーティリティーモード 1 で Serato DJ 以外のソフトウェアを使う設定に変更してください。また、DJ ソフトウェアのオーディオおよび MIDI に関する設定も行ってください。
- 詳しくは、お使いの DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

MIDI メッセージについて

本機の MIDI メッセージについては、「MIDI メッセージ一覧」をご覧ください。
- 「MIDI メッセージ一覧」は下記の URL より入手できます。
  http://pioneerdj.com/support/

ドライバソフトウェアについて (Windows)

本ドライバソフトウェアは、コンピューターからの音声を出力するための専用 ASIO ドライバです。
- Mac OS X をお使いのときは、ドライバソフトウェアをインストールする必要はありません。
- はじめに 33 ページの「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。

動作環境

対応 OS		
Windows® 8/Windows® 8 Pro	32 ビット版	○
	64 ビット版	○ [1]
Windows® 7 Home Premium/ Professional/Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○ [1]

[1] 64 ビット版 Windows をお使いのときは、ドライバソフトウェアは 32 ビットアプリケーションだけにお使いいただけます。

ドライバソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバソフトウェアの最新情報については、下記の Pioneer DJ サポートサイトを参照してください。
http://pioneerdj.com/support/

インストール手順について

- 操作手順は「インストール手順 (Windows)」を参照してください。

❖ ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書 (以下「本契約」といいます) は、お客様とパイオニア株式会社 (以下「当社」といいます) との間における、DJ 機器用ソフトウェア (以下「本ソフトウェア」といいます) の使用に関する事項を定めるものです。
本ソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたっては、必ず以下の条項をよくお読み下さい。お客様が本ソフトウェアをご利用になった場合は、本契約に同意されたものとします。もし本契約に同意されない場合には、本ソフトウェアのインストール及びご利用をおやめ下さい。

(使用許諾)
本契約の内容に従うことを条件として、お客様は、本ソフトウェアを一台のパーソナル·コンピュータ又は携帯端末にインストールして使用することができます。

(制限事項)
お客様は、本ソフトウェアの複製物を作成しあるいは配布し、またはネットワークを通じあるいは一台のコンピュータから別のコンピュータに送信してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアの改変、販売、貸与、譲渡、転売、本ソフトウェアの二次的著作物の頒布又は作成等をすることはできず、さらに、逆コンパイル、リバース·エンジニアリング、逆アセンブルし、その他、人間の覚知可能な形態に変更することもできません。

(著作権等)
本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社あるいはその関連会社に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法及び国際条約の規定により保護されています。

(保証及び技術サポートの否認)
本ソフトウェア及びそれに付随する一切の資料等は、あくまで「現状のまま」提供されます。当社は、お客様や第三者に対して、これらの商品性、特定目的への適合性、他人の権利を侵害しないこと、その他一切の事項について保証せず、また、これらに対する技術サポートを行うこと等も保証しません。なお、国や地域によっては強行法規によってかかる保証の否認が認められないことがありますので、その場合には、かかる保証の否認は適用されないことがあります。また、お客様の権利は、国や地域によっても異なり得ます。

(責任制限)
当社、その他本ソフトウェアの供給者は、お客様が本ソフトウェア及びこれに付随する一切の資料を使用したこと又は使用できなかったことから生じる一切の損害 (利益の逸失、ビジネスの中断、情報の消失·毀損などによる損害を含みますが、これらに限定されません) に関しては、たとえ当社が、そのような損害が生じる可能性を知らされていた場合であったとしても、一切責任を負いません。国や地域によっては強行法規によって付随的又は間接損害に対する責任の制限が認められないことがありますので、その場合には、かかる責任制限は適用されないことがあります。なお、いかなる場合においても、本ソフトウェアに関する当社またはその子会社の責任は、お客様が当社またはその子会社に対して支払った金額を超えないものとします。かかる保証の否認や責任制限は、お客様と当社との間の取り決めにおける基本的な要素です。

(輸出規制法令の遵守)
お客様は、アメリカ合衆国の法令及び本ソフトウェアを取得された国の法令が認めている場合を除き、本ソフトウェアを使用または輸出もしくは再輸出することはできません。また、本ソフトウェアを、次のいずれの者に対しても、輸出または再輸出することはできません。
(a) アメリカ合衆国の通商禁止国
(b) アメリカ合衆国財務省の禁止顧客リスト (Specially Designated Nationals List) 上の一切の者、及びアメリカ合衆国商務省の禁止顧客リスト (Denied Person’s List or Entity List) 上の一切の者
お客様は、本ソフトウェアを使用することにより、上記 (a) に該当する国に居住しておらず、また、上記 (b) のリストに掲載されていないことを表明および保証するものとします。また、お客様は、本ソフトウェアをアメリカ合衆国の法令にて禁止されるいかなる目的 (核兵器、ミサイル、化学兵器、または細菌兵器を含みますが、これに限定されません) にも使用しないことに同意されたものとします。

(準拠法)
本契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。本契約は、本ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、本件に関する従前のあらゆる合意 (それが口頭でなされたか文書によりなされたかを問いません) に優先して適用されます。本契約に関連して紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

保証とアフターサービス

本内容は日本国内モデルのみに適用されます。

修理に関するご質問、ご相談

「ご使用の前に (重要)/ クイックスタートガイド」の巻末に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書 (ご使用の前に (重要)/ クイックスタートガイドの裏表紙に記載)

保証書は必ず「販売店名·購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。
保証書に販売店名や購入日の記載がない場合は、本製品のご購入の際に受け取られた、購入日が明記されている購入証明書 (レシート、納品書、受注メールなど) が必要となります。保証書とともに大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の 30 ページの「故障かな? と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず USB ケーブルを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名 : DJ コントローラー
- 型番 : DDJ-SR
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
  「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外(たとえば飲食店等での営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用)で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

K041_A3_Ja

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

商標および登録商標について

- Pioneer はパイオニア株式会社の登録商標です。
- Microsoft, Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac OS、iTunes、および Finder は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Intel および Intel Core は、米国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
- Serato DJ、Scratch Live、ITCH、Serato DJ Intro は、Serato 社の登録商標です。

その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。営利的目的での (収益の発生するような)、実際の放送 (地上波放送 · 衛星放送 · 有線放送 · あるいは他のメディアを利用した放送)、インターネットやイントラネット (企業内ネット) あるいは他のネットワークを利用した放送·ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム (音楽の有料配信など) のためにはライセンスされておりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは http://www.mp3licensing.com をご参照ください。

著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

— 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

© 2013 パイオニア株式会社　禁無断転載

パイオニア株式会社
〒 212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉 1 番 1 号
<DRI1188-A>